

**広島県**  
**専門研修プログラム案内**  
**(令和8年度)**

**広島県地域医療支援センター**



プログラムの内容は、基幹施設、各領域の学会のホームページまたは「ふるさとドクターネット広島」のホームページをご覧ください。

※各基幹施設のプログラムは、各基本領域学会の一次審査を通過したものであり日本専門医機構の二次審査により修正・変更があることをご承知ください。

ふるさとドクターネット広島

<https://dn-hiroshima.jp>

広島県の専門研修

広島県地域医療支援センター

〒732-0057 広島市東区二葉の里三丁目2-3 広島県医師会館4階

TEL：082-569-6491

E-Mail：iryoud@hiroshima-hm.or.jp

# 目次

<b>内 科</b> .....	1
広島大学病院 .....	2
県立広島病院 .....	4
広島市民病院 .....	6
北部医療センター 安佐市民病院 .....	7
広島赤十字・原爆病院.....	8
J A 広島総合病院.....	9
呉医療センター・中国がんセンター .....	10
中国労災病院 .....	11
呉共済病院 .....	12
東広島医療センター .....	13
J A 尾道総合病院.....	14
福山医療センター .....	15
福山市民病院 .....	16
中国中央病院 .....	17
市立三次中央病院.....	18
<b>小児科</b> .....	19
広島大学病院 .....	20
広島市民病院 .....	21
福山市民病院 .....	22
<b>皮膚科</b> .....	23
広島大学病院 .....	24
<b>精神科</b> .....	25
広島大学病院 .....	26
賀茂精神医療センター .....	27
<b>外 科</b> .....	28
広島大学病院 .....	29
広島市民病院 .....	31
<b>整形外科</b> .....	32
広島大学病院 .....	33
呉医療センター・中国がんセンター .....	35
広島赤十字・原爆病院.....	36
シムラ病院 .....	37
浜脇整形外科病院.....	38
<b>産婦人科</b> .....	39
広島大学病院 .....	40
広島市民病院 .....	41
<b>眼 科</b> .....	42
広島大学病院 .....	43
<b>耳鼻咽喉科</b> .....	44
広島大学病院 .....	45
広島市民病院 .....	46

<b>泌尿器科</b> .....	47
広島大学病院 .....	48
<b>脳神経外科</b> .....	50
広島大学病院 .....	51
<b>放射線科</b> .....	52
広島大学病院 .....	53
福山市民病院 .....	54
<b>麻酔科</b> .....	55
広島大学病院 .....	56
広島市民病院 .....	57
呉医療センター・中国がんセンター .....	58
<b>病 理</b> .....	59
広島大学病院 .....	60
<b>臨床検査</b> .....	62
広島大学病院 .....	63
<b>救急科</b> .....	64
広島大学病院 .....	65
県立広島病院 .....	67
広島市民病院 .....	69
北部医療センター 安佐市民病院 .....	70
J A 広島総合病院 .....	71
呉医療センター・中国がんセンター .....	72
福山市民病院 .....	73
<b>形成外科</b> .....	74
広島大学病院 .....	75
広島市民病院 .....	76
<b>リハビリテーション科</b> .....	77
広島大学病院 .....	78
<b>総合診療</b> .....	79
広島大学病院 .....	80
県立広島病院 .....	82
広島市民病院 .....	83
北部医療センター 安佐市民病院 .....	84
広島共立病院 .....	85
福山医療センター .....	86
庄原赤十字病院 .....	87
福山南病院 .....	88



# 内 科

## 広島大学病院専門医制度内科領域プログラム

**基幹施設** : 広島大学病院  
**住所** : 広島市南区霞1-2-3  
**担当** : 呼吸器内科 岩本 博志  
**TEL** : 082-257-5196  
**mail** : hir@hiroshima-u.ac.jp  
**URL** : <https://mkensyu.hiroshima-u.ac.jp/senmonkensyu/>  
**募集定員** : 49名

### プログラムの特徴

広島大学病院を基幹施設として、広島県全体の医療圏・近隣医療圏にある連携施設とで内科専門研修を行います。広島県および近隣の医療圏の医療事情を理解し、地域の実情に合わせた実践的な医療も行えるように指導を行い、内科専門医としての基本的臨床能力獲得後は、内科領域サブスペシャリティ専門医への道を歩む場合を想定して内科専門医の育成を行います。

### 指導医から内科専攻医希望者へのメッセージ

当プログラムでは、大学病院の内科領域各診療科が連携をして、豊富な臨床経験を持つ指導医の下で万遍なく多彩な症例を経験できる充実した指導体制を整えています。また、各診療科と関連のある広島県内全域の多くの連携施設・特別連携施設とともに、個々の事情に配慮しながら内科専門医の育成を行います。内科専門医資格取得後の内科領域サブスペシャリティ専門医資格取得を念頭においた研修を行う一方で、リサーチマインドを育む研修も行い、臨床研究や基礎研究を行う大学院博士課程への進学も支援します。また、中山間地勤務期間においても社会人大学院生として博士号取得への環境整備を整えています。

総合内科・総合診療科 准教授 菅野 啓司

### 当該プログラム専攻医から内科専攻医希望者へのメッセージ

本プログラムでは広島大学病院を基幹病院として、県内の多彩な連携施設で研修を行い、一般内科から救急医療、さらに各専門領域まで幅広い症例を経験する事ができます。大学病院での研修では高度で先進的な医療に触れる機会に加え、学術的活動や研究、教育に関わる環境が整っており、日々刺激を受けながら成長できます。連携施設での研修では、地域に根差した診療に主体的に携わることができ、大学病院での知識や技術とあわせて学ぶ事で、臨床医として総合的な力が養えると感じています。熱心で親身な先生方のご指導のもと、安心して研修に臨める環境が整っており、充実した日々を過ごす事ができます。多様なキャリアの可能性を広げながら成長できる本プログラムを、ぜひご検討してください。

卒後5年 倉富 亮

### 【連携施設】

呉医療センター・中国がんセンター（呉市）  
 東広島医療センター（東広島市）  
 広島西医療センター（大竹市）  
 県立広島病院（広島市南区）  
 広島市立広島市民病院（広島市中区）  
 広島市立北部医療センター安佐市民病院（広島市安佐北区）  
 広島市立舟入市民病院（広島市中区）  
 広島赤十字・原爆病院（広島市中区）  
 庄原赤十字病院（庄原市）  
 JA 広島総合病院（廿日市市）  
 JA 尾道総合病院（尾道市）  
 市立三次中央病院（三次市）  
 三次地区医療センター（三次市）  
 中国労災病院（呉市）

呉共済病院（呉市）  
 済生会広島病院（坂町）  
 済生会呉病院（呉市）  
 土谷総合病院（広島市中区）  
 マツダ病院（府中町）  
 二葉の里病院（広島市東区）  
 一陽会 原田病院（広島市佐伯区）  
 吉島病院（広島市中区）  
 三原市医師会病院（三原市）  
 神石高原町立病院（神石高原町）  
 中電病院（広島市中区）  
 広島記念病院（広島市中区）  
 翠清会 梶川病院（広島市中区）  
 福島生協病院（広島市西区）  
 脳神経センター大田記念病院（福山市）

ビハーラ花の里病院（三次市）  
柳井医療センター（山口県）  
福山医療センター（福山市）  
福山市民病院（福山市）

**【特別連携施設】**

JA 吉田総合病院（安芸高田市）  
呉共済病院忠海分院（竹原市）  
東広島記念病院（東広島市）  
公立みつぎ総合病院（尾道市）  
三原城町病院（三原市）  
安芸市民病院（広島市安芸区）  
安芸太田病院（安芸太田町）  
庄原市立西城市民病院（庄原市）

公立世羅中央病院（世羅町）  
府中北市民病院（府中市）  
広島共立病院（広島市安佐南区）  
太田川病院（広島市東区）  
光仁会 梶川病院（広島市西区）  
シムラ病院（広島市中区）  
更生会 ころろホスピタル草津（広島市西区）  
道後温泉病院（愛媛県）  
長崎病院（広島市西区）  
青山病院（呉市）  
サンクリニック（東広島市）  
博愛クリニック（呉市）  
井口医院（広島市安佐北区）

## 県立広島病院内科専門研修プログラム

**基幹施設** : 県立広島病院  
**住所** : 広島市南区宇品神田1-5-54  
**担当** : 事務局 総務課 参事 瀬尾 浩昭  
**TEL** : 082-254-1818 (代表) (内線 4262)  
**mail** : hphsoumu@hpho.jp  
**URL** : <https://hiroshima.hpho.jp/rinsho/senkoi/>  
**募集定員** : 6名

### プログラムの特徴

広島県の中心的な高度急性期病院である県立広島病院を基幹施設として、広島県広島医療圏を中心に、県内の他医療圏（広島西、呉、広島中央、尾三、備北）の施設と連携した研修施設群（計24施設）を構成しています。

基幹施設ではサブスペシャリティ専門研修に重点を置き、十分な症例数と充実した指導体制のもと、豊富な連携施設・特別連携施設での研修と併せて質の高い研修を受けることが可能となっています。

### 指導医から内科専攻医希望者へのメッセージ

当院は広島市南部に位置し、「患者さんの権利を尊重し、県民に信頼される病院をめざします」を理念に掲げ、救急医療、がん医療等を柱とし、県内を俯瞰する基幹病院として高度急性期を中心とした医療を展開しています。

当院の内科専門研修プログラムは、基幹施設として当院の特性を活かし、サブスペシャリティ専門研修や内科救急診療、学術活動を通じて、専攻医のリサーチマインドを涵養し、専攻医のキャリアデザインをサポートします。

また、広島県下にまたがる豊富な連携施設において、内科専門医になるために学ぶべきcommon diseaseや地域医療の現場での研修を行い、質の高い内科医を育成します。当院の内科専門研修プログラムを通じて、最新の知識、技能を修得するとともに、患者の社会的側面、心理的側面も考慮した、全人的医療を実践できる内科専門医を目指してください。

副院長・脳心臓血管センター長・循環器内科主任部長 上田 浩徳

### 当該プログラム専攻医から内科専攻医希望者へのメッセージ

当院は広島県内でも随一の中核病院であり、病診・病病連携を通じて年間多数の紹介患者を受け入れております。私は脳神経内科専攻医1年目ですが、脳卒中やてんかんといった神経救急疾患に加え、パーキンソン病や重症筋無力症といった神経変性疾患・免疫疾患を含めた幅広い領域にまたがって診療に携わっています。また、内科専攻医は内科救急診療部の一員として平日日中の救急搬送患者の対応を初期研修医と共に担当し、専門診療科以外の疾患についても経験できます。高齢化により多様な身体的・社会的問題を抱える症例が増加しており、疾患そのものを治すだけでなくその後に必要な医療・介護・福祉へのアプローチについても学ぶことができます。全人的な医療が実践できる内科医を目指す研修医の先生方、ぜひ当院での研修をご検討ください。

卒後3年専攻医 高木 大輔

### 【連携施設】

広島大学病院（広島市南区）  
 広島赤十字・原爆病院（広島市中区）  
 JA 広島総合病院（廿日市市）  
 市立三次中央病院（三次市）  
 済生会広島病院（坂町）  
 県立二葉の里病院（広島市東区）  
 マツダ病院（府中町）  
 福島生協病院（広島市西区）

公立みつぎ総合病院（尾道市）  
 広島市立舟入市民病院（広島市中区）  
 県立安芸津病院（東広島市）  
 一陽会 原田病院（広島市佐伯区）  
 呉医療センター・中国がんセンター（呉市）  
 呉共済病院（呉市）  
 東広島医療センター（東広島市）  
 土谷総合病院（広島市中区）  
 中国労災病院（呉市）

JA 尾道総合病院（尾道市）  
広島市民病院（広島市中区）  
広島市立北部医療センター安佐市民病院（広島市安佐北区）  
広島西医療センター（大竹市）  
庄原赤十字病院（庄原市）

沖縄県立中部病院（沖縄県）  
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター（沖縄県）

**【特別連携施設】**

JA 吉田総合病院（安芸高田市）

## 広島市民病院内科専門研修プログラム

**基幹施設** : 地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立広島市民病院  
**住所** : 広島市中区基町7-33  
**担当** : 事務室総務課人事係 (研修管理委員会) 小松・石津・長谷川・児玉  
**TEL** : 082-221-2291  
**mail** : hiro-kensyu@hcho.jp  
**URL** : <https://www.city-hosp.naka.hiroshima.jp/>  
**募集定員** : 8名

### プログラムの特徴

広島市立広島市民病院は、広島市の中心部に位置し、広島県都市部医療圏の中心的な急性期病院であり、救急医療、がん医療（地域がん診療連携拠点病院）、高度医療を担っています。救急科専従を必修としており、密度の高い救急医療を研修できます。  
また、1年目から希望のサブスペシャリティーを中心とした研修ができますので、すでにサブスペシャリティーが決まっている専攻医を歓迎します。

### 指導医から内科専攻医希望者へのメッセージ

広島市立広島市民病院には、内科系各領域それぞれの専門医がそろっており、研修医に対する指導に力を入れています。私たちと一緒に仕事をする中で、あなたは知らず知らずのうちに、確かな内科専門医への道を踏み出していることでしょう。  
症例も急性疾患から慢性疾患まで、また、良性疾患から悪性疾患まで十分に経験でき、頑張れば頑張るほど多くのものを身につけることができます。  
オフの時間は、目と鼻の先にある繁華街に繰り出すもよし、広島カープやサンフレッチェ広島の応援に行くもよし、広島交響楽団のコンサートに行くもよし、明るく充実した研修生活があなたを待っています。  
内科主任部長 植松 周二

### 当該プログラム専攻医から内科専攻医希望者へのメッセージ

新内科専門医制度では、幅広い分野の疾患を経験する必要がある、どのような疾患を経験できるのかが、プログラムを選択する上で、重要なポイントになってくると思います。  
現在、私は当院の基幹プログラムで、消化器内科を中心に研修を行っておりますが、希望すれば専門以外の内科を研修することもできます。救急科の研修では、内科以外の疾患についても経験でき、その後の自分に役に立つ様々なノウハウも得られます。  
また当院は急性期病院のため、1年間の院外での研修で、内科医に必要な慢性期の疾患も勉強できます。ある程度研修は個人の希望を尊重してもらえするため、指導医・同期と相談しながら、自分に合った研修を是非当院で行いましょう。

専攻医

### 【連携施設】

岩国医療センター（山口県）  
福山医療センター（福山市）  
福山市民病院（福山市）  
県立広島病院（広島市南区）  
広島大学病院（広島市南区）  
岡山市立市民病院（岡山県）  
岡山赤十字病院（岡山県）  
岡山医療センター（岡山県）

倉敷中央病院（岡山県）  
川崎医科大学附属病院（岡山県）  
岡山大学病院（岡山県）  
岡山ろうさい病院（岡山県）  
広島市立舟入市民病院（広島市中区）  
福島生協病院（広島市西区）  
JR 広島病院（広島市東区）  
済生会広島病院（坂町）

## 北部医療センター安佐市民病院内科専門研修プログラム

**基幹施設** : 地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立北部医療センター 安佐市民病院  
**住所** : 広島市安佐北区亀山南一丁目2-1  
**担当** : 事務室 総務課 人事係 豊田 麻里  
**TEL** : 082-815-5211 (代表)  
**mail** : toyota-m@hcho.jp  
**URL** : <https://www.asa-hosp.city.hiroshima.jp/medical-personnel/careers/residents/late/>  
**募集定員** : 8名

### プログラムの特徴

本内科専門研修プログラムは、広島県北西部地域の中心的な高度急性期病院である北部医療センター安佐市民病院を基幹施設とし、当院と強い診療連携体制をとる広島医療圏北部、備北医療圏および島根県南部の連携施設・特別連携施設で形成しています。広島県全体および隣接県の医療事情を理解し、地域の実情に合わせた実践的な診療を修得することにより、広島県全域および隣接県の医療を支える有能な内科専門医の育成を行います。

### 指導医から内科専攻医希望者へのメッセージ

当院の内科指導医は、それぞれのサブスペシャリティ専門医でありながら常に総合内科医としての責務を果たすことをモットーとしています。高齢救急患者さんの多いこの地域では、連携施設・特別連携施設とお互いの役割を理解して連携を深めており、若手医師の教育・支援にも力を入れています。当院は434床の総合病院でありながら、各診療科の垣根が低く、気軽に相談できる体制を維持しており、内科は専門診療科を越えた診療体制をとっています。メディカルスタッフとのチーム医療体制も充実しています。内科専門医研修において必要な経験症例は内科全体で協力しながら指導を行うこととしており、連携施設・特別連携施設とはネットカンファレンスや人事交流を行い、安心して充実した専門医研修を受けることができます。

副院長／内科専門研修プログラム責任者 加藤 雅也

### 当該プログラム専攻医から内科専攻医希望者へのメッセージ

内科・総合診療科の藤井樹と申します。

当院は、2022年5月に新たに安佐北区亀山の地に移転したばかりの病院です。近隣地域および広島県北西部、島根県の県境地域から年間6000台以上の救急搬送を受け入れており、超急性期～急性期の医療を中心に高度な医療を学ぶ事ができます。多くの専門科があり、他診療科との垣根も低いいため、専門研修以外の領域についても逐一情報共有しながら幅広く学ぶことが出来ます。

地域完結型の医療を実現するための急性期医療を担うと同時に、コメディカルスタッフと連携をとりながら、患者様がその後に必要とする医療・介護・福祉への道筋を立てる思考能力についても学ぶことができます。地域に根ざした急性期医療に興味のある方は是非、当院での研修プログラムをご検討ください。

卒後3年専攻医 藤井 樹

#### 【連携施設】

広島大学病院 (広島市南区)  
 県立広島病院 (広島市南区)  
 広島市民病院 (広島市中区)  
 市立三次中央病院 (三次市)  
 庄原赤十字病院 (庄原市)  
 広島共立病院 (広島市安佐南区)  
 JA 吉田総合病院 (安芸高田市)  
 公立みつぎ総合病院 (尾道市)

#### 【特別連携施設】

公立邑智病院 (島根県)  
 安芸太田病院 (安芸太田町)  
 北広島町豊平診療所 (北広島町)

## 広島赤十字・原爆病院内科専門研修プログラム

**基幹施設** : 広島赤十字・原爆病院  
**住所** : 広島市中区千田町一丁目9-6  
**担当** : 教育研修推進室 大木 美沙  
**TEL** : 082-241-3111 (内線 3110)  
**mail** : kyouiku@hiroshima-med.jrc.or.jp  
**URL** : [https://www.hiroshima-med.jrc.or.jp/recruit/clinical\\_medical/](https://www.hiroshima-med.jrc.or.jp/recruit/clinical_medical/)  
**募集定員** : 4名

### プログラムの特徴

内科専門研修で一般的に不足しがちとされる血液、リウマチ・膠原病、神経の症例も豊富にあり、幅広い疾患を診療することができます。連携施設は広島県や福岡県等の19施設であり、これらの施設での研修を組み合わせることにより、地域的・社会的背景の異なる多彩な症例や、先進医療を経験することが可能です。また必要な条件を満たした場合には、3年目に当院でサブスペシャリティ研修に進むこともできます。

### 指導医から内科専攻医希望者へのメッセージ

新しい内科専門医制度は3年間のプログラム制であり、内科系の70疾患群のうち少なくとも56疾患群を経験し、合計で120症例以上を経験することが必要とされています。内科系専門医を志す場合には、自身が目指すサブスペシャリティ分野以外の症例も必要とされるため負担が大きいのが実情です。しかし、多岐にわたる症例を経験し、診療できるのが内科の魅力であるのもまた確かです。当院では内科の全ての分野で豊富な症例と優れた指導医を有しており、内科医としての見識を深める充実した研修を受けることができます。また最速でのサブスペシャリティ専門医資格の取得にも対応した研修制度を取っています。負担の多い研修制度であるからこそ、内科を志す若い先生の研修を、ニーズに応じて全面的にサポートしていきたいと考えています。

リウマチ科部長 澤部 琢哉

### 当該プログラム専攻医から内科専攻医希望者へのメッセージ

私は内科専攻医として、卒後3年目から広島赤十字・原爆病院で研修をしています。私が所属している血液内科では、上級医の元で入院患者を担当します。当院の血液内科の症例数は国内でも有数であるため、幅広い血液疾患の経験を積む機会があります。さらに、血液内科の中でも上級医がそれぞれに専門分野を有しているため、深い知識や豊富な経験を有しており、指導やディスカッション等を通じて、成長させて頂ける機会があります。血液内科としての診療だけではなく、内科救急当番や内科当直業務では、内科全般の研修・経験を積むことができます。メディカルスタッフの方々も熱意があり、また協力的である点も恵まれた環境だと思います。皆さんも、ぜひ当院での研修をご検討ください。

卒後4年専攻医 日野 賢次郎

#### 【連携施設】

九州大学病院 (福岡県)  
 呉医療センター・中国がんセンター (呉市)  
 JA 尾道総合病院 (尾道市)  
 県立広島病院 (広島市南区)  
 庄原赤十字病院 (庄原市)  
 県立安芸津病院 (東広島市)  
 中電病院 (広島市中区)  
 JCHO 九州病院 (福岡県)  
 北九州市立医療センター (福岡県)

浜の町病院 (福岡県)  
 福岡赤十字病院 (福岡県)  
 九州医療センター (福岡県)  
 原三信病院 (福岡県)  
 九州大学病院別府病院 (大分県)  
 飯塚病院 (福岡県)  
 新小倉病院 (福岡県)  
 福岡市民病院 (福岡県)  
 福岡和白病院 (福岡県)  
 大阪大学医学部附属病院 (大阪府)

## 広総内科専攻医プログラムもみじ 2026

**基幹施設** : 広島県厚生農業協同組合連合会 広島総合病院  
**住所** : 廿日市市地御前1丁目3-3  
**担当** : 人事課 藤田 慎介  
**TEL** : 0829-36-3111  
**mail** : hiro.kensyu@hirokouren.or.jp  
**URL** : https://hirobyo.jp/  
**募集定員** : 3名

### プログラムの特徴

「広総内科専攻医プログラムもみじ 2026」は、広島県西医療圏の中心的な急性期病院であるJA広島総合病院を基幹施設として、近隣医療圏の特徴ある医療施設と連携した地域に根ざしたプログラムで、当地域の医療事情を理解し、地域の実情に合った実践的な先進医療を研修できます。基本的臨床能力獲得後は個別のサブスペシャリティー技能も獲得可能で、内科専門医として広島県全域を支えることを可能とする発展的な地域完結型プログラムです。

### 指導医から内科専攻医希望者へのメッセージ

「広総内科専攻医プログラムもみじ 2026」では、基幹施設であるJA広島総合病院での急性期医療のみならず、各連携施設や特別連携施設での特徴ある医療を、専攻医個人の希望に沿って経験習得することができます。

本プログラムは、サブスペシャリティーを並行して研修するサブスペ並行研修を基本としており、研修内容の自由度が高いことが特徴です。当初よりサブスペシャリティーを決定している方にとっても、広い分野の症例を経験できるうえ、自身のサブスペシャリティー領域についてより専門的に経験、症例を積むことができます。サブスペ以外の内科全般については、日当直および救急科・総合診療科などの協力の下で経験を積んでいきます。本プログラムはサブスペ専門医試験を最短期間で受験できるよう構成されています。

診療部長、循環器内科主任部長 莊川 知己

### 当該プログラム専攻医から内科専攻医希望者へのメッセージ

私は2024年よりJA広島総合病院にて研修中の呼吸器内科専攻医です。当院は広島県西医療圏の中核を担う急性期病院であり、近隣医療施設と連携しながら地域医療を支えています。そのため自身の専攻科以外の症例も多く経験する事ができ、今後の医師として必要とされる多くのスキルを日々の診療の中で学べます。全科当直では内科全般の幅広い知識が必要となり、内科医として必要なノウハウを学び技術を磨けます。他科や多職種からのサポートも大きく気軽に相談できる環境であるため、内科外科を問わず様々な患者様の治療に携われます。優しい指導医やパラメディカルの方々、そして他科の先生方から熱心なご指導をいただきながら充実した日々を過ごしております。地域医療に興味のある方、総合的な内科の力を伸ばしたい方、当院と一緒に研修をしませんか。

卒後4年専攻医 山田 息吹

#### 【連携施設】

広島西医療センター（大竹市）  
 県立広島病院（広島市南区）  
 一陽会 原田病院（広島市佐伯区）  
 市立三次中央病院（三次市）

#### 【特別連携施設】

慶広会 野島内科医院（広島市佐伯区）  
 JA 吉田総合病院（安芸高田市）

## 呉医療センター・中国がんセンター内科専門研修プログラム

**基幹施設** : 国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター  
**住所** : 呉市青山町3-1  
**担当** : 管理課 庶務班長 地田 浩二  
**TEL** : 0823-22-3111  
**mail** : 506-senmon@mail.hosp.go.jp  
**URL** : <https://kure.hosp.go.jp/rinshou/kouki.html>  
**募集定員** : 4名

### プログラムの特徴

広島県南部の呉二次医療圏唯一の三次救急病院であり、がんセンターでもある当院は広島県内に広範囲の施設と連携を取り、幅広い内科研修を行うことができます。特に高齢化が著しい呉江田島地域での研修を行うことにより地域の実情を理解し、地域の求める医療を実践します。内科のすべてのサブスペシャリティ領域の専門性も高く研修ができますので将来を見据え豊富な症例経験と研究の機会があります。

### 指導医から内科専攻医希望者へのメッセージ

当院はがんセンターとして機能を有していることに加え呉二次医療圏唯一の1～3次救急病院であります。研修期間中にいわゆるcommon diseaseから希少疾患まで幅広い症例を経験することができます。また、血液内科や膠原病リウマチ科を含む各内科のスペシャリストがそろっており、内科全般を習得することが可能です。全内科医が集まる内科カンファレンスにて症例検討・レクチャーを行っているほか、国内外の学会発表も盛んであり、発表者は出張旅費・学会参加費が支給され、英文校正の補助も出ます。さらに内科専門研修修了に必須のJMECCをはじめCPC、感染管理、臨床倫理、医療安全などの講習会やカンサーボードも充実しています。当院の研修は、個々の能力を最大限に引き出し、内科専門医・サブスペシャリティ研修として十分な臨床能力を学ぶことができます。

脳神経内科科長 大下 智彦

### 当該プログラム専攻医から内科専攻医希望者へのメッセージ

当院で内科専門研修を行うメリットは、(1)豊富で多様な症例経験ができる (2)アカデミックな活動に関して手厚い支援が得られる (3) JMECCやCPC、専門医共通講習の開催があることだと思います。当院は二次医療圏の中核を担う基幹病院であり、がんセンターかつ一次～三次救急の双方を行う日本で唯一の施設です。common diseaseから希少例まで沢山の症例を経験できます。内科のサブスペシャリティがすべてそろっていることに加え、外科系も含めた診療科同士の垣根が低く、専攻科以外の内科症例・外科紹介症例の経験も容易です。またJ-OSLER修了に必要な諸講習が当院で開催されるため、当院に勤務すればこれらに関する基準は達成できます。学会発表時の旅費・参加費補助、シミュレーションセンター、国立病院機構の専攻医対象研修など非常に手厚く、学術活動を行う上でも非常にメリットがあると身をもって感じています。呉医療センターで、ぜひ私たちと一緒に研修しましょう。

専攻医 小松 由樹子

#### 【連携施設】

東広島医療センター（東広島市）  
 広島西医療センター（大竹市）  
 広島市立北部医療センター安佐市民病院（広島市安佐北区）  
 広島大学病院（広島市南区）  
 県立広島病院（広島市南区）  
 広島赤十字・原爆病院（広島市中区）

広島市民病院（広島市中区）  
 土谷総合病院（広島市中区）  
 庄原赤十字病院（庄原市）  
 済生会呉病院（呉市）

#### 【特別連携施設】

公立下蒲刈病院（呉市）

## 中国労災病院内科専門研修プログラム

**基幹施設** : 独立行政法人労働者健康安全機構 中国労災病院  
**住所** : 呉市広多賀谷 1 - 5 - 1  
**担当** : 総務課 磯谷 亮太  
**TEL** : 0823-72-7171  
**mail** : shomu-4@chugokuh.johas.go.jp  
**URL** : <https://www.chugokuh.johas.go.jp/>  
**募集定員** : 3名

### プログラムの特徴

- ・内科救急医療やプライマリ・ケアをはじめ、医師に必要とされる基本的な診療能力を修得すると共に、患者の言葉に耳を傾け、患者から信頼される医師を目指す。
- ・内科的診断・治療のための検査・手技能力を修得する。
- ・他の医療スタッフと共に患者中心のチーム医療が行える能力を修得する。
- ・初診・入院から退院まで可能な範囲で経時的に、診断・治療の流れを通じて全人的医療を実践することを修得する。
- ・地域のかかりつけ医と連携し、地域完結型の医療を学ぶ。
- ・内科学の進歩に合わせた生涯学習を行うための方略の基本を修得すると共に、リサーチマインドの素養を修得する。

### 指導医から内科専攻医希望者へのメッセージ

私達の目指す内科専門医とは、幅広い医学的視野と高度な医療技能を共に持ち、患者さんに柔軟に対応できる医師のことです。これらは『心』『知識』『技術・技能』『経験』で裏付けられた診断・治療能力であります。当院内科後期研修ではどのサブスペシャリティ領域の志望であるかにかかわらず、診療守備範囲の広い、高レベルで、包括的な内科診療を実践できる専門医となることを目標としています。

副院長 守屋 尚

#### 【連携施設】

広島大学病院（広島市南区）

呉共済病院（呉市）

JA 尾道総合病院（尾道市）

#### 【特別連携施設】

島の病院おおたに（江田島市）

公立下蒲刈病院（呉市）

呉記念病院（呉市）

## 呉共済病院内科専門研修プログラム

**基幹施設** : 国家公務員共済組合連合会 呉共済病院  
**住所** : 呉市西中央2-3-28  
**担当** : 医療秘書科 中川 咲恵  
**TEL** : 0823-22-2111 (代表)  
**mail** : s-nakagawa@kure-kyosai.jp  
**URL** : [https://kure-kyosai.kkr.or.jp/resident/internal\\_medicine\\_specialist/](https://kure-kyosai.kkr.or.jp/resident/internal_medicine_specialist/)  
**募集定員** : 4名

### プログラムの特徴

13領域のうち、ほぼ全ての疾患群の症例を経験することができます。技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能（内視鏡、心カテを含む血管造影検査、透析、がん化学療法など）を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。地域に根ざした医療、病診・病病連携なども経験できます。在宅緩和ケア治療、終末期の在宅診療などがん診療に関連した地域医療・診療連携を経験できます。

### 指導医から内科専攻医希望者へのメッセージ

内科専門医には、疾病の予防から治療に至る保健・医療活動を通じて、市民の健康に積極的に貢献することが求められます。  
幅広い疾患群を経験し、診療技術の修得に留まらず、患者の抱える多様な背景に配慮できる内科医を目指してください。

呼吸器内科部長（呼吸器内科分野責任者）堀田 尚克

### 当該プログラム専攻医から内科専攻医希望者へのメッセージ

広島県南西部に位置する呉共済病院は、全33科、397床を擁する呉市の中核病院です。年間3,000台以上の救急車を受け入れる救急指定病院であり、軽症から重症まであらゆる救急患者に対応します。初期研修で学んだ知識と手技を最大限臨床応用でき、自己の診療能力をさらに磨き、深めることができます。  
臨床、研究、指導に秀でた指導スタッフが充実しており、当院は診療科ごとの垣根が低いため、診療科を越えて優しく丁寧な指導を受ける事ができる環境が整っております。一般臨床から専門分野まで隙のない後期研修生活を送ることができます。  
学会発表や論文を書きたい先生方にも最高の環境で、仕事もプライベートもどちらも充実できるシステム作りも進んでいます。ぜひとも当院内科プログラムにご参加ください。

卒後4年専攻医 岡本 まどか

### 【連携施設】

広島大学病院（広島市南区）  
愛媛大学医学部附属病院（愛媛県）  
中国労災病院（呉市）  
広島市立北部医療センター安佐市民病院（広島市安佐北区）  
広島赤十字・原爆病院（広島市中区）  
JA 広島総合病院（廿日市市）  
一陽会 原田病院（広島市佐伯区）  
県立広島病院（広島市南区）

### 【特別連携施設】

土谷総合病院（広島市中区）

## 東広島医療センター内科専門研修プログラム

**基幹施設** : 国立病院機構 東広島医療センター  
**住所** : 東広島市西条町寺家 5 1 3  
**担当** : 管理課 庶務班長 森岡 真理子  
**TEL** : 082-423-2176  
**mail** : morioka.mariko.zt@mail.hosp.go.jp  
**URL** : [https://higashihiroshima.hosp.go.jp/profession/rinsyou\\_web.html](https://higashihiroshima.hosp.go.jp/profession/rinsyou_web.html)  
**募集定員** : 3名

### プログラムの特徴

本プログラムは、広島中央医療圏で中心的な役割を担う急性期病院である東広島医療センターを基幹施設とし、当院と強い診療連携体制にある近隣医療圏の連携施設とで内科専門研修を行います。広島県の医療事情を理解し、地域の実情に合わせた実践的な医療が行えるように訓練され、基本的臨床能力獲得後は必要に応じた可塑性のある内科専門医として広島県を支えることのできる内科専門医の育成を行います。

### 指導医から内科専攻医希望者へのメッセージ

当院は広島中央医療圏の中核病院です。中央医療圏の広範囲から患者さんが集まるため多様な疾患群の研修ができます。また、地域がん診療連携拠点病院の役割を担っていますので多様ながん患者さんも経験できます。いずれにしても十分な症例を経験することができます。また、患者さん本位の誠実で親切な心温まる医療を目指し、また日頃から研鑽し科学にもとづき納得できる先進医療を取り入れながら安定的に安心して安全な医療を提供するという当院の理念の元で研修すれば、十分に納得される内科医師となれると思われれます。

内科各分野の疾患は専門医のもとで治療を行い経験し学ぶことができます。サブスペシャリティの専門医資格取得を念頭においた場合でも良い研修ができます。また、地域の医療機関なので一般内科の疾患も診療する機会がたくさんあります。全人的な内科診療をできる内科専攻医を目指す先生方の応募をお待ちしています。

消化器内科診療部長 濱田 博重

### 当該プログラム専攻医から内科専攻医希望者へのメッセージ

研修医の皆様は、「三年目医師」に対しどのような印象をお持ちでしょうか。一番大変な時期、不十分な知識での救急や患者対応への不安、そして一人前の医師にむけて一歩だけ踏み出せるような期待感。

少なくとも私はそのような思いを抱えて当院に赴任いたしました。そしてやはりその通りでありました。右も左もわからないまま様々な失敗をし、少しだけ得た知識に満足して愚かにもまた次の失敗をしています。

しかし間違えたとき、前を向こうと思えるかももう嫌だと諦めるかは、恐らく周りの人の優しさに左右されると考えております。

そのような意味で私は当院での研修を心から推薦したいと思います。末筆ではございますが、皆様の今後のご健勝をお祈り申し上げます。

卒後3年専攻医 湯浅 拓哉

### 【連携施設】

広島大学病院（広島市南区）  
 呉医療センター・中国がんセンター（呉市）  
 県立安芸津病院（東広島市）  
 広島市民病院（広島市中区）

## JA尾道総合病院内科専門医研修プログラム

**基幹施設** : 広島県厚生農業協同組合連合会 尾道総合病院  
**住所** : 尾道市平原一丁目10番23号  
**担当** : 人事課 人事課長 山脇 尚道  
**TEL** : 0848-22-8111  
**mail** : ri.onomichi@hirokouren.or.jp  
**URL** : [https://onomichi-gh.jp/clinician/clinician\\_later.php](https://onomichi-gh.jp/clinician/clinician_later.php)  
**募集定員** : 6名

### プログラムの特徴

以前から若手医師の育成には力を入れており、当院の卒業生がすでに多数臨床の第一線で活躍しています。当地区は全国的に有名な「尾道方式」と呼ばれる地域医療連携が展開されており、地域全体で患者をケアできます。また、地域の特性を十分に活かし、コモンディーズから三次救急の疾患、また地域医療から高度医療までを内科の全領域で経験でき、将来臨床医・研究者・指導者としても第一線で活躍し続けられる人材を育成します。

### 指導医から内科専攻医希望者へのメッセージ

尾道総合病院では、主に将来、消化器内科、呼吸器内科、腎臓内科、循環器内科の専門医を目指す先生方に最適な研修プログラムをご用意しています。各領域には多数の指導医が熱意を持った指導を展開しています。また厚労省指定のがん診療連携拠点病院として質の高いがん診療、地域救命救急センターとしての三次救急医療を通じて、地域に根差したがん、救急医療を展開しており、地域医療圏から大きな信頼を得ています。尾道地区は、従来から医師会全体の病診連携が非常に良好であり、“地域の先生方と創る”患者さんの立場に立った良質な内科医療を経験することができます。専攻医の期間は、『内科専攻科』に所属し、各科が横断的に育成するシステムとなっています。将来、患者さんの気持ちを理解できる内科専攻医を目指す先生方の応募をお待ちしています。

消化器内科・内科専攻科主任部長 小野川 靖二

### 当該プログラム専攻医から救急科専攻医希望者へのメッセージ

JA尾道総合病院プログラムで呼吸器内科医として後期研修をさせていただいております。当プログラムの中で、三原市医師会病院、JA尾道総合病院で診療をさせていただきました。患者数、特に高齢者の方々が多く、内科として広く様々な症例を経験し、また、地域の医療機関から様々な呼吸器疾患もご紹介いただき、自己の専門性も高めることができます。他科との垣根も低く、様々な科の先生方にコンサルテーションさせていただく中でも多くの学びがあると感じております。内科疾患、呼吸器内科疾患、救急疾患、慢性疾患など多くの幅広い症例を通して、様々な現場で活躍することができる力を身につけることができますと思います。当プログラムで研修を積まれる先生方をお待ちしております。

卒後4年専攻医 露木 真子

### 【連携施設】

中国労災病院（呉市）  
 三原市医師会病院（三原市）  
 尾道市立市民病院（尾道市）  
 公立みつぎ総合病院（尾道市）  
 脳神経センター大田記念病院（福山市）

公立世羅中央病院（世羅町）  
 広島赤十字・原爆病院（広島市中区）  
 県立広島病院（広島市南区）

### 【特別連携施設】

東広島記念病院（東広島市）

## 福山医療センター内科専門医研修プログラム

**基幹施設** : 国立病院機構 福山医療センター  
**住所** : 福山市沖野上町4-14-17  
**担当** : 管理課 庶務係長 谷口 研郎  
**TEL** : 084-922-0001 (代表)  
**mail** : 507-HP@mail.hosp.go.jp  
**URL** : <https://fukuyama.hosp.go.jp/doctor/index.html>  
**募集定員** : 5名

### プログラムの特徴

国立病院機構福山医療センターは、広島県東部医療圏の中心的な機能を満たす病院の一つであり、広島県指定がん診療連携拠点病院、エイズ治療拠点病院、地域医療支援病院等の認定施設として、連携施設・特別連携施設として内科専門研修を行い、必要に応じた可塑性のある地域医療にも貢献できる内科専門医を目指します。また、サブスペシャリストから最新の医療を学ぶことにより、豊富で幅広い知識と経験を積むことができます。

### 指導医から内科専攻医希望者へのメッセージ

当院での研修は、「自由」と「自主性」を重んじ、常に専攻医みずからが望むべき研修を受けられるよう配慮しています。専攻医それぞれの性格や資質・能力に応じた個別の研修ができるよう臨機応変にプログラムなどを構成しています。病院の規模のわりには専攻医が多くなく、症例数も豊富なため充実した研修が受けられます。また、連携施設・特別連携施設ともそれぞれの施設が得意とする分野に関して、当院では難しい研修において補っていただけるシステムとなっており、網羅的な研修、研鑽を積むことが可能です。このように、初期研修を終え内科医としての一歩をあゆみ出すには、当院での研修は非常に適していると考えますので、ぜひ当院での研修を考えていただけたらありがたいと思います。

プログラム統括責任者 豊川 達也

### 当該プログラム専攻医から内科専攻医希望者へのメッセージ

私が当院での研修を希望した理由は、病院見学の際に病院の雰囲気が良く、研修医が生き生きと働いていたからです。初期研修から内科専攻医になり、当院での勤務は4年目ですが、経験豊富な先輩医師や指導医の熱心なご指導のもと、興味のある手技や勉強になる症例などを自分の希望に応じて幅広く担当することができ、入職時と比べて大きく成長できたと思います。研修医同士も意見交換や勉強会などをおこない、切磋琢磨して楽しみながら充実した専門研修をおこなっています。当院での研修に少しでも興味がある方、一度当院へお越しください。ぜひ当院と一緒に研修しましょう。

卒後4年専攻医 松森 俊祐

#### 【連携施設】

岡山大学病院（岡山県）  
 広島大学病院（広島市南区）  
 川崎医科大学附属病院（岡山県）  
 福山市民病院（福山市）  
 中国中央病院（福山市）  
 広島市民病院（広島市中区）  
 倉敷中央病院（岡山県）

岩国医療センター（山口県）  
 笠岡市立市民病院（岡山県）  
 岡山医療センター（岡山県）

#### 【特別連携施設】

脳神経センター大田記念病院（福山市）  
 紫苑会 福山南病院（福山市）  
 福山循環器病院（福山市）  
 沼隈病院（福山市）

## 福山市民病院内科専門研修プログラム

**基幹施設** : 福山市民病院  
**住所** : 福山市蔵王町五丁目23番1号  
**担当** : 経営企画部 病院総務課 松本 友哉  
**TEL** : 084-941-5151  
**mail** : shimin-byouin@city.fukuyama.hiroshima.jp  
**URL** : https://www.fc-hosp.jp/  
**募集定員** : 6名

### プログラムの特徴

福山市民病院は救命救急センターを併設し、広島県東部から岡山県西部の中核となる急性期病院です。当院の役割は、「救急医療」、「がん診療」、「高度専門医療」であり、当地において、大学病院の代わりとなるべき病院です。よって、コモンな症例から重症例や稀な症例まで症例は非常に豊富で、特に消化器（肝・胆膵・消化管）、循環器、呼吸器、腎臓、血液、リウマチ・膠原病、総合診療領域では充実した研修が可能です。

### 指導医から内科専攻医希望者へのメッセージ

指導医当院の内科は、専門分野としては肝臓、胆膵、消化管、呼吸器、循環器、腎臓、血液、リウマチ・膠原病、総合診療内科に加え、神経、腫瘍、糖尿病内科に細分化され、それぞれに常勤の専門医を配しています。しかし組織としては各専門科の垣根が低い大内科制であり、複雑な疾患の診療やJ-OSLERの登録に有利な体制を構築しています。各領域で救急・がん・高度専門診療に取り組んでおり、人口46万人の福山市の中核病院であり、質・量とも症例は豊富で、症例経験のみならず、消化管・胆膵内視鏡、気管支鏡、心臓カテーテルなど基本手技から高度専門手技まで、奪い合うことなく経験可能です。学術活動においては、地方会の奨励賞、全国学会の主題発表、英語論文作成が専攻医の目標です。是非我々と共に地域医療を支えながら研鑽し、専門医を取得して下さい。

副院長 兼 教育研修部長 植木 亨

### 当該プログラム専攻医から内科専攻医希望者へのメッセージ

私は初期研修から引き続き専攻医として当院で研修しております。当院は地域の中核病院として多くの救急症例や高難度症例、希少症例を受け入れています。そのなかで専攻医は日当直に加え、日中の救急当番や初診外来も担っています。そのため専攻領域のみならず内科全般の多くの症例を経験できます。多種多様な症例を主治医として担当することで治療方針に苦慮することもあります。各専門領域の指導医や他科の先生と相談でき、心強く感じつつ日々多くの学びを得ています。手技に関しても上級医の指導のもと、EUS・ERCPやTACE・RFAなど専門的な手技も専攻医主体で経験でき日々研鑽を積んでいます。学術活動も活発であり、全国学会主題発表や論文執筆など貴重な経験ができます。関心を持っていただけた方は是非見学にお越しください。心よりお待ちしております。

卒後3年専攻医 小西 史哲

#### 【連携施設】

川崎医科大学附属病院（岡山県）  
 広島大学病院（広島市南区）  
 倉敷中央病院（岡山県）  
 川崎医科大学総合医療センター（岡山県）  
 福山医療センター（福山市）  
 大田記念病院（福山市）  
 岡山赤十字病院（岡山県）  
 津山中央病院（岡山県）

岡山大学病院（岡山県）  
 広島市民病院（広島市中区）  
 笠岡市立市民病院（岡山県）  
 尾道市立市民病院（尾道市）

#### 【特別連携施設】

井原市民病院（岡山県）  
 神石高原町立病院（神石高原町）  
 紫苑会 福山南病院（福山市）  
 府中市民病院（府中市）

## 公立学校共済組合中国中央病院内科専門医制度研修プログラム

**基幹施設** : 公立学校共済組合 中国中央病院  
**住所** : 福山市御幸町上岩成 1 4 8 番 1 3  
**担当** : 事務部庶務係 中藤 祐子  
**TEL** : 084-970-2121  
**mail** : medico@kouritu-cch.jp  
**URL** : <https://www.kouritu-cch.jp/resident/latter/>  
**募集定員** : 5 名

### プログラムの特徴

広島県東部 福山府中二次医療圏（人口約52万人）における地域の中核病院として、長年、内科学会認定教育病院として、認定医、総合内科専門医の育成に力をいれてきました。内科分野の中では、血液、呼吸器、消化器、腎臓、糖尿病、膠原病関連の患者さんが多い病院です。また、中規模病院であるため、専門的な疾患だけではなく、common diseaseも数多く経験することが可能になります。将来、内科Subspecialty 専門医に進むにしても、新しい内科専門医制度の目的である総合内科専門医として活躍できる医師になるための研修をしっかりとさせていただきたいと考えています。

### 指導医から内科専攻医希望者へのメッセージ

総ベッド数は中規模ですが、内科は150床前後と研修に十分な数となっています。呼吸器、血液、消化器、腎、膠原病、糖尿病については、当院で必要な症例および手技を経験することができます。循環器、神経疾患についてはそれぞれの専門的な連携施設にて研修します。中規模病院ですので、各科の垣根は低く、自由度の高いプログラムとなっています。

病院長・呼吸器内科部長 玄馬 顕一

### 当該プログラム専攻医から内科専攻医希望者へのメッセージ

当院の内科専門研修プログラムでは、J-O-S-L-E-Rを3年で修了するために十分な質・量・分野の症例を担保しつつ、自由度が高い研修が可能です。血液や膠原病、腎臓など周辺の他病院では経験しづらい分野の症例も豊富です。肺癌では広島県随一の症例数を誇っています。

当院で不足する分野や地域医療については連携施設で経験でき、当院では各自の志望するサブスペシャリティを中心に診療しながら、無理のない範囲で他分野の症例を経験することが出来ます。

また中規模病院であるため内科の他分野や他科との垣根も低く、相談しやすい環境です。周辺にはショッピングモールや映画館などあり、24時間営業のスーパーマーケットも隣接しており、立地にも恵まれております。

是非当院での内科専門研修をご検討ください。皆さまにお会いできるのを楽しみにしております。

卒後4年専攻医 山本 隆貴

### 【連携施設】

岡山医療センター（岡山県）  
 脳神経センター大田記念病院（福山市）  
 尾道市立市民病院（尾道市）  
 岡山済生会総合病院（岡山市）

### 【特別連携施設】

神石高原町立病院（神石高原町）  
 府中市民病院（府中市）  
 紫苑会 福山南病院（福山市）  
 寺岡記念病院（福山市）

## 市立三次中央病院内科専攻医研修プログラム

**基幹施設** : 市立三次中央病院  
**住所** : 三次市東酒屋町10531番地  
**担当** : 病院企画課 主査 迫 あすか  
**TEL** : 0824-65-0101  
**mail** : byouinkikaku@city.miyoshi.hiroshima.jp  
**URL** : <https://www.miyoshi-central-hospital.jp/torikumi/clinical/>  
**募集定員** : 5名

### プログラムの特徴

当院には広大な医療圏からさまざまな疾患を持つ患者が受診します。特に真の救急医療においては、地域の方々にとって当院を受診するほかに選択肢はないといえるほどです。基本的に診るべき疾患については網羅できることでしょう。同時に、各診療科とも専門的な診療を行う人的資源はそろっているため、専門性の高い研修も行える、バランスのよいプログラムになっています。

### 指導医から内科専攻医希望者へのメッセージ

当院は広島県北地域の基幹病院です。県北の広範囲から救急患者が集まるため多様な疾患群の研修ができます。一部は広島市内などの病院に搬送しますが、初期対応、初期治療を行って搬送する場合がほとんどですので、初期診療についての研修は可能です。さらに各分野の疾患について、かなり深く専門的な治療を経験して学ぶことができます。また地域の特性から、病院においてcommon diseaseを診療する機会が多いことも特徴でしょう。

当院で研修すれば、専門性を持ちながら多種多様な疾患にもかなりの程度まで対応でき、現在求められている医師像に近づけるのではないかと考えています。さらに連携施設においては、生活に密着した研修を行うことで、高齢化社会における医療や介護・福祉の役割など、今後日本全体で問題になっていく事柄について、身をもって学べます。

副院長・内科主任医長 田中 幸一

### 当該プログラム専攻医から内科専攻医希望者へのメッセージ

当院は備北医療圏にある地域中核病院であり、地域に根ざした医療を実践しています。日々の研修では専門領域の診療はもちろん、救急対応や一般内科診療を経験する機会も多いです。また各診療科の垣根が低く、相談しやすい環境であるため試行錯誤しながら幅広い疾患・症候に対応する経験を積むことができます。

日本の高齢化率は26%を超え、超高齢化社会を迎えています。今後はより臓器横断的に全身を診てさらには社会背景やクオリティ・オブ・ライフにも配慮した全人的医療を行う内科医が求められます。当院の連携施設には地域の中堅・中小病院も含まれており一般内科医としての診療に加えて患者さんの抱える社会背景へのアプローチを学ぶことができる点も当院のプログラムの魅力であると感じています。

卒後6年 住本 夏子

### 【連携施設】

庄原赤十字病院（庄原市）  
 公立みつぎ総合病院（尾道市）  
 神石高原町立病院（神石高原町）  
 公立世羅中央病院（世羅町）  
 JA 吉田総合病院（安芸高田市）

### 【特別連携施設】

安芸太田病院（安芸太田町）  
 庄原市立西城市民病院（庄原市）

# 小児科

## 広島大学病院小児科専門研修プログラム

**基幹施設** : 広島大学病院  
**住所** : 広島市南区霞 1 - 2 - 3  
**担当** : 小児科 教授 岡田 賢  
**TEL** : 082-257-5212  
**mail** : sokada@hiroshima-u.ac.jp  
**URL** : <https://mkensyu.hiroshima-u.ac.jp/senmonkensyu/>  
**募集定員** : 12名

### プログラムの特徴

本プログラムは広島大学を基幹病院とし、広島県内の各病院において一般小児科診療・新生児診療・地域医療の専門研修を行います。3年間にわたり広島県全域で専門研修を行う中で、小児の一次から三次医療まで幅広く経験し、小児科医に必須となる救急疾患や新生児疾患への対応、急性疾患の管理を研修します。さらに、専門分野における先進的かつ高度な医療にも触れることができる、総合的な研修プログラムとなっています。

### 指導医から小児科専攻医希望者へのメッセージ

本プログラムは「小児医療の水準向上と進歩発展を図り、小児の健康増進および福祉の充実に寄与する優れた小児科専門医を育成する」ことを目的とし、特定の専門領域に偏ることなく、幅広い研修を提供しています。専攻医は「小児科医は子どもの総合医である」という基本的姿勢に基づき、3年間の研修を通じて「子どもの総合診療医」「育児・健康支援者」「子どもの代弁者」「学識・研究者」「医療のプロフェッショナル」という5つの資質を備えた小児科専門医となることを目指します。広島大学病院および広島県内の専門研修連携病院では、約160名の小児科医が診療に従事しています。小児科専門医の取得には各領域での経験が不可欠ですが、本プログラムでは経験豊富な指導医のもとで十分な臨床経験を積むことが可能です。広島の子どもたちのために、一緒に頑張りましょう。

教授 岡田 賢

### 当該プログラム専攻医から小児科専攻医希望者へのメッセージ

専攻医広島大学病院の専門研修プログラムでは、3年間で複数の病院を経験し、一般小児診療に加えて新生児医療や大学病院での高度な専門医療など、幅広い分野を学ぶことができます。新生児期から思春期まで多様な疾患に対応する小児科医にとって、専攻医の時期に幅広い経験を積める本プログラムは大変貴重です。私自身も東広島医療センター、県立広島病院NICU、そして大学病院で研修し、充実した経験を得ることができました。

子どもに最善の医療を届けるという使命のもと、仲間と切磋琢磨し、子どもたちの笑顔を励みに日々研修に取り組んでいます。小児科医を志す皆さん、未来ある子どもたちの健康を守るために、ぜひ広島大学病院の専門研修プログラムで共に学び、成長していきましょう。

卒後5年専攻医 福田 由梨乃

#### 【連携施設】

広島市立舟入市民病院（広島市中区）  
 県立広島病院（一般・新生児）（広島市南区）  
 広島赤十字・原爆病院（広島市中区）  
 広島市立北部医療センター安佐市民病院（広島市安佐北区）  
 JA 広島総合病院（廿日市市）  
 呉医療センター・中国がんセンター（呉市）

中国労災病院（呉市）  
 東広島医療センター（東広島市）  
 JA 尾道総合病院（尾道市）  
 広島市立広島市民病院（一般・新生児）（広島市中区）  
 土谷総合病院（新生児）（広島市中区）  
 市立三次中央病院（三次市）  
 庄原赤十字病院（庄原市）  
**【その他の関連施設】**  
 広島西医療センター（大竹市）

二葉の里病院（広島市東区）  
 安芸市民病院（広島市安芸区）  
 広島市こども療育センター（広島市東区）  
 広島県立総合リハビリテーションセンター（東広島市）  
 わかば療育園（東広島市）  
 重症心身障害児施設鈴が峰（広島市佐伯区）

## 広島市民病院小児科専門研修プログラム

**基幹施設** : 地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立広島市民病院  
**住所** : 広島市中区基町7-33  
**担当** : 事務室総務課人事係（研修管理委員会） 小松・石津・長谷川・児玉  
**TEL** : 082-221-2291  
**mail** : hiro-kensyu@hcho.jp  
**URL** : <https://www.city-hosp.naka.hiroshima.jp/>  
**募集定員** : 2名

### プログラムの特徴

- ・豊富な症例を、偏りなく経験できる。（血液・腫瘍は、岡山大学病院や広島大学病院と提携して研修可能。）
- ・希望に応じ、循環器小児科（心エコー、心臓カテーテル検査/治療）や新生児科（新生児搬送、NICU診療）で、より専門性の高い診療を経験することもできる。
- ・連携施設（三原赤十字病院・興生総合病院・福山市民病院）等で地域医療の研修を行うことができる。（新型コロナウイルス感染の状況などで変更する場合があります。）
- ・希望に応じ、小児外科医療の研修もできる。
- ・約20名の小児科専門医（多くがサブスペシャリティの専門医も取得）により、丁寧な指導・教育が受けられる。
- ・院内のカンファレンス、抄読会のほか、学術集会や研究会での発表、論文の執筆を通じて、学術的なスキルを身につけることができる。

### 指導医から小児科専攻医希望者へのメッセージ

当院は、小児科専門研修基幹施設であり、総合周産期母子医療センターでもあります。広島市内・県内はもとより中国地区西部からも多くの患者さんが来院される、地域の小児医療における中核病院です。一般小児内科医療を担う小児科のほか、循環器小児科（心臓カテーテル治療件数は全国トップクラス）、神経小児科があり専門的診療を行っています。新生児科や小児外科部門も充実しており、成人各科との連携のもと、胎児期から成人期まで「成育医療」の観点から幅広く学んでいただける研修環境です。小児科スタッフの多くは小児科専門医のほか、サブスペシャリティの専門医資格を持っており、興味のある専門領域に関してハイレベルな指導を受けていただくことが可能です。

子どもを安心して生み、育てることができる社会の構築は、日本の喫緊の課題です。医療の分野でもっとも深く関わるのは小児科医であり、私たち市民病院のスタッフには、公的・社会的な期待も寄せられています。研修医の皆さんには指導医との関わりの中で、医療へのスタンス、医師としてのフィロソフィーも学んでいただきたいと願っています。当院での研修を通じて、幅広く奥深い小児診療の魅力を体感してください。スタッフ一同、皆さんを心から歓迎いたします。

小児科主任部長（循環器小児科部長兼務） 片岡 功一

### 【連携施設】

三原赤十字病院（三原市）  
 福山市民病院（福山市）  
 興生総合病院（三原市）  
 岡山大学病院（岡山県）  
 広島大学病院（広島市南区）

## 福山市民病院小児科専門研修プログラム

**基幹施設** : 福山市民病院  
**住所** : 福山市蔵王町五丁目23番1号  
**担当** : 経営企画部 病院総務課 松本 友哉  
**TEL** : 084-941-5151  
**mail** : shimin-byouin@city.fukuyama.hiroshima.jp  
**URL** : <https://www.fc-hosp.jp/>  
**募集定員** : 2名

### プログラムの特徴

広島県東部の小児科研修（福山市民病院・福山医療センター）を2～2.5年間、岡山大学病院での研修を0.5～1年間行うプログラムです。福山市民病院は小児二次救急を24時間体制で行っており、小児のcommon diseaseを多数経験することが可能です。また、小児科の中でも専門性を持った医師（小児腎臓、小児循環器、小児内分泌、小児糖尿病、小児神経）が揃っており、専門性の高い研修も可能です。

### 指導医から小児科専攻医希望者へのメッセージ

小児科、特に市中病院の小児科は、いわゆる総合診療内科のような立場であり、幅広い分野の疾患を最初から最後まで診療することになります。小児科医としてスタートをきる専攻医の時期には、まずは小児のcommon diseaseを多数経験することはとても大切です。その後、専門性を高めていくのも良いでしょう。福山市民病院は小児の二次救急を24時間365日体制で行っており、症例が豊富です。救急といえば、忙しいというイメージが強いですが、当院では小児科医の勤務はシフト制を取り入れており、オン/オフのはっきりした研修生活を送ることができます。広島県東部にゆかりのある方もない方も、是非、当院のプログラムで研修しませんか？お待ちしております。

診療部次長 兼 小児科統括科長 安井 雅人

### 当該プログラム専攻医から小児科専攻医希望者へのメッセージ

当プログラムは福山市民病院、福山医療センター、岡山大学病院の3医療機関で連携したプログラムとなっております。現在医療センター→市民病院と経験した自分ですが、同じ市中病院でも医療機関の違いによって経験する症例は様々で、専攻医のうちに複数の医療機関で研修できる当プログラムの魅力を実感しております。特に当院では小児の二次救急病院として近医からの紹介や救急搬送など数多くの症例を経験することが可能です。加えて各サブスペシャリティ領域の医師も多く、小児科専門医取得のための必要症例も指導医の下で経験させていただくことが出来ます。

当プログラムにご興味を持っていただけた方は、是非一度当科の見学にお越しください。心よりお待ちしております。

卒後5年専攻医 木村 崇

### 【連携施設】

岡山大学病院（岡山県）

福山医療センター（福山市）

# 皮膚科

## 広島大学病院皮膚科研修プログラム

**基幹施設** : 広島大学病院  
**住所** : 広島市南区霞 1 - 2 - 3  
**担当** : 皮膚科 診療講師 森桶 聡  
**TEL** : 082-257-5237  
**mail** : morioke-hma@hiroshima-u.ac.jp  
**URL** : <https://mkensyu.hiroshima-u.ac.jp/senmonkensyu/>  
**募集定員** : 9名

### プログラムの特徴

本プログラムは、科学的根拠に基づいた効果的で安全な標準的医療を患者の皆様にご提供できる皮膚科専門医を育成することを目標としています。初期研修で身につけた総合的診療能力を背景に、皮膚疾患及び関連領域の専門知識・診療技能を習得することができます。頻度の高い皮膚疾患はもちろんのこと、より高度な専門性を発揮できる皮膚アレルギー疾患、皮膚腫瘍、皮膚感染症、熱傷についても多くの症例経験を積むことができます。

### 指導医から皮膚科専攻医希望者へのメッセージ

広島大学病院皮膚科は、世界のアレルギー学を牽引してきました。それと同時に広範囲熱傷と皮膚悪性腫瘍の診療にも力を入れています。そのため、アレルギーなど内科的なことに興味がある人、手術や処置など実際に手や体を動かすことが好きな人、または内科的なことと外科的なことの両方のスキルを身につけたい人、このような人にとって広島大学病院皮膚科は最適の研修場所です。

広島県はもっと多くの皮膚科医を必要としています。皆さんが目にする県内の皮膚科クリニックのどこもが患者さんであふれています。そして、広島大学病院皮膚科には皮膚疾患の病態解明や新規治療法の開発をしたい人たちが活躍できる場所が沢山あります。もし一生続けられる仕事を手に入れたいと思っているのであれば、広島で皮膚科専攻医の道を開いてください。

教授 田中 暁生

### 当該プログラム専攻医から皮膚科専攻医希望者へのメッセージ

皮膚科は、局所の皮膚変化から全身の病態を明らかにしていく診療科です。丁寧な問診と皮疹の観察に加え、ダーモスコピーや皮膚生検などを駆使して診断へと導きます。扱う分野はアレルギー、感染症、腫瘍、病理など多岐にわたり、どなたでも興味を持てる領域が必ず見つかります。治療法も多彩で、内科的・外科的側面を兼ね備えている点が大きな魅力です。

当プログラムでは、最低1年間は大学病院で研修を行い、頻度の高い疾患から重症例や稀少疾患まで幅広く経験し、検査法・治療法を体系的に学びます。関連病院ではより身近な疾患を数多く経験することで、診療技術を確実に磨くことができます。いずれの施設でも指導医のもとで安心して診療に取り組める環境が整っており、皮膚科医として大きく成長できる体制です。

皮膚、そして皮膚を通じた全身診療に関心のある研修医の皆さん、ぜひ一度見学にいらしてください。

卒後4年 橋本 桃佳

#### 【連携施設】

県立広島病院（広島市南区）  
 広島市立北部医療センター安佐市民病院（広島市安佐北区）  
 JA 広島総合病院（廿日市市）  
 JA 尾道総合病院（尾道市）  
 二葉の里病院（広島市東区）  
 慶応義塾大学病院（東京都）  
 マツダ病院（府中町）

#### 【準連携施設】

呉医療センター・中国がんセンター（呉市）  
 東広島医療センター（東広島市）  
 中国労災病院（呉市）  
 市立三次中央病院（三次市）  
 土谷総合病院（広島市中区）  
 中電病院（広島市中区）  
 公立みつぎ総合病院（尾道市）  
 庄原赤十字病院（庄原市）

済生会広島病院（坂町）  
 広島西医療センター（大竹市）  
 JA 吉田総合病院（安芸高田市）

# 精神科

## 精神科領域専門医研修プログラム

**基幹施設** : 広島大学病院  
**住所** : 広島市南区霞 1 - 2 - 3  
**担当** : 精神科 淵上 学  
**TEL** : 082-257-5208  
**mail** : mf547@hiroshima-u.ac.jp  
**URL** : <https://mkensyu.hiroshima-u.ac.jp/senmonkensyu/>  
**募集定員** : 9名

### プログラムの特徴

あらゆる精神科臨床場面において基本的な診療が適切にできる精神科ジェネラリストを育成することを目標としています。最初の2年半で大学病院、総合病院精神科、精神科専門病院において精神科の基本を学びます。3年目下半期には、地域医療、社会復帰支援、老年期、児童・思春期、総合病院精神科、薬物・アルコール依存、気分障害リワークなど、専攻医の関心のある専門分野での研修を選択することが可能です。

### 指導医から精神科専攻医希望者へのメッセージ

精神医学・医療はその領域が非常に幅広い学問・医療です。プライマリケアから精神科救急、社会復帰、緩和ケアなど様々な領域でメンタルケアが求められており、国の地域医療計画においても、精神疾患は対策を講ずべき重要な疾患と位置づけられています。このようなニーズのなか、当教室には、広島県の地域医療を支えることから、世界に向けて精神医学の新しい知見を発信することまで、多くの責務があると考えています。精神医学に興味がある人はぜひ当科へお越しください。研修では、まず精神医学・医療を幅広く学び、臨床経験を積んでいただきますが、その後も個人の希望、適性に沿った専門性を確立していただける環境があります。精神科医療を共に支え、発展させる意欲と情熱のある先生方と一緒に働けることを楽しみにしております。

医局長 淵上 学

### 当該プログラム専攻医から精神科専攻医希望者へのメッセージ

入局1年目は大学病院で入院診療、リエゾン、緩和ケアをローテーションし、週1回は他の関連病院で外来診療や入院診療を担当します。大学病院ではそれぞれチームで行動し、担当医として責任を持って診療に関わりますが、いつでも相談に応じてくださる指導医の先生方に、適切で丁寧な指導をいただきながら日々の診療に取り組みます。それでも悩む際には診療科内全体で議論し方針を決定していくといった、とても充実した指導体制がとられています。教室の雰囲気も非常に良く日々楽しく、時には厳しい指導を受けつつ充実した研修生活を送っています。精神科医療に興味がある方、ぜひ一度見学にいらしていただければと思います。将来、共に広島の精神科医療に携われることを切に願っております。

卒後4年専攻医 宮脇 友里恵

### 【連携施設】

県立広島病院（広島市南区）  
 広島市立広島市民病院（広島市中区）  
 呉医療センター・中国がんセンター（呉市）  
 広島市立北部医療センター安佐市民病院（広島市安佐北区）  
 大慈会 三原病院（三原市）  
 瀬野川病院（広島市安芸区）  
 更生会 こころホスピタル草津（広島市西区）  
 和恒会 ふたば病院（呉市）  
 緑誠会 光の丘病院（福山市）  
 翠星会 松田病院（広島市南区）

広島第一病院（広島市東区）  
 メープルヒル病院（大竹市）  
 せがわ会 千代田病院（北広島町）  
 恵愛会 安佐病院（広島市安佐南区）  
 小泉病院（三原市）  
 緑風会 ほうゆう病院（呉市）  
 広島市立舟入市民病院（広島市中区）  
 広島市こども療育センター（広島市東区）  
 仁和会 児玉病院（広島市安佐北区）  
 呉みどりヶ丘病院（呉市）  
 吉田会 吉田病院（江田島市）

## かも(賀茂精神医療センター)精神科専門研修プログラム

**基幹施設** : 独立行政法人国立病院機構 賀茂精神医療センター  
**住所** : 東広島市黒瀬町南方 92 番地  
**担当** : 管理課 庶務係長 杉本 竜一  
**TEL** : 0823-82-3000  
**mail** : sugimoto.ryuichi.ry@mail.hosp.go.jp  
**URL** : <https://kamo.hosp.go.jp/>  
**募集定員** : 2 名

### プログラムの特徴

基幹病院の賀茂精神医療センターは司法精神医学を最も得意としているが、精神科救急、災害医療、重度心身障害者医療、地域医療も担っている。重度心身障害者病棟を担当している医長である指導医は児童思春期症例も積極的に担当している。当院のプログラムは1年間は当院で精神科医としての基本を身につけ、2年目から関連施設も含めたそれぞれの特色を活かしたプログラムを経験していただくこととなる。関連施設の佐賀県の肥前精神医療センター、千葉県の下総精神医療センターは国立病院機構の中でも大規模な単科の精神科病院であり幅広く症例を経験することが出来る。府中市立湯が丘病院は広島県のふるさと枠の中山間地域の中小病院に指定されており、中山間地域での医療を積極的に学ぶことが出来る。プログラムは3つに分かれており、基幹病院である賀茂精神医療センターでの研修を2年以上行う標準コース、当院での研修を1年以上行い、残りの期間を他のNHO施設で行うNHO連携コース、広島県ふるさと枠の医師等のために中山間地域での研修が出来る地域医療コース、いずれかを選択して研修していただく。また、NHOの強みを活かし、NHOで開催している専門研修などにも希望があれば積極的に参加して頂き専攻医が身に着けたい技術を全面的にバックアップする。

### 指導医から精神科専攻医希望者へのメッセージ

当院の指導医は、精神医療一般に加え各専門分野の知識経験も豊富な人材が多く、専門研修においても満足な研修が提供できると思っています。また、広島県では広島大学病院を中心に総合病院の精神科や民間の精神科病院、診療所などが研修ネットワークをつくり連携していくことになっており、当院も参加しています。精神科医を目指す方の当院への応募をお待ちしております。

副院長 田中 真二郎

### 【連携施設】

肥前精神医療センター（佐賀県）  
 下総精神医療センター（千葉県）  
 湯が丘病院（府中市）

# 外 科

## 広島大学外科専門研修プログラム

**基幹施設** : 広島大学病院

住所 : 広島市南区霞 1 - 2 - 3

URL : <https://surgery.hiroshima-u.ac.jp/program/program/>

募集定員 : 30 名

外科学 (心臓血管外科・消化器外科・小児外科)

担当 : 医局長 上村 健一郎

TEL : 082-257-5215

mail : [umk@hiroshima-u.ac.jp](mailto:umk@hiroshima-u.ac.jp)

消化器外科・移植外科 (消化器外科・移植外科)

担当 : 医局長 小林 剛

TEL : 082-257-5222

mail : [tsukoba@hiroshima-u.ac.jp](mailto:tsukoba@hiroshima-u.ac.jp)

原医研腫瘍外科 (呼吸器外科・乳腺外科・消化器外科)

担当 : 医局長 浜井 洋一

TEL : 082-257-5869

mail : [yyhamai@hiroshima-u.ac.jp](mailto:yyhamai@hiroshima-u.ac.jp)

### プログラムの特徴

広島大学では広島で外科医を志す医師を対象とした「広島大学外科専門研修プログラム」です。このプログラムは広島大学病院と広島県内の二次保険医療圏およびその他の医療圏からなる連携施設により専門研修施設群を構成します。医療に求められる一般外科医療と、より専門性の高い医療の習得を目的とした研修を行います。通常3年間で必要な症例をすべて経験し、「外科専門医」の習得をめざします。

### 指導医から外科専攻医希望者へのメッセージ

広島大学外科専門研修プログラムでは専攻医が医師として必要な基本的診療能力および外科領域の専門的診療能力を習得することを目的としています。そして知識・技能・態度と高い倫理性を備えることにより、患者に信頼され、標準的な医療を提供でき、プロフェッショナルとしての誇りを持ち、患者への責任を果たせる外科専門医の育成を目指しています。そして外科領域全般からサブスペシャリティ領域 (消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺、内分泌外科) またはそれに準じた外科関連領域の専門研修を行い、それぞれの領域の専門医取得へと連動出来るシステムになるようにプログラムを作成しました。次世代を担う高いモチベーションを持つ外科医を育てることが我々の目標です。このプログラムを受ける先生方が、知識・技能と高い倫理性を備えた多くの患者さんに信頼される外科医として羽ばたくことを願っています。

消化器外科・移植外科 教授 大段 秀樹

### 当該プログラム専攻医から外科専攻医希望者へのメッセージ

専攻医広島大学病院外科専攻医の 小野倫枝と申します。卒後3年目は連携施設である呉医療センター、4年目はJA広島総合病院で研修し、5年目は基幹病院の広島大学で研修をしています。

広島大学外科専門研修プログラム (通称phoenix surgeons club; PSC) は、広島の多数の市中病院と大学病院の双方で研修することができ、心臓血管外科、呼吸器外科、消化器外科、移植外科、乳腺・内分泌外科、小児外科の各分野を網羅しています。専門領域に特化した研修もできますし、全分野を一通り研修してから専門領域を決定することもできるため、各人の希望に寄り添ったflexibleなプログラムとなっていることが特徴です。

また、各分野の研究会、腹腔鏡での縫合結紮大会など、様々なイベントが定期的で開催されており、学術・手術手技の両面で研鑽を積むことができ、更に各分野の同期や先輩と交流して外科医同士の繋がりも深め

ることができます。皆さんも是非、私たちと一緒に広島の外科を盛り上げていきましょう！！

卒後5年専攻医 小野 倫枝

**【連携施設】**

土谷総合病院（広島市中区）  
西条中央病院（東広島市）  
榎殿順記念病院（広島市西区）  
樹章会 本永病院（東広島市）  
吉島病院（広島市中区）  
県立安芸津病院（東広島市）  
県立広島病院（広島市南区）  
公立世羅中央病院（世羅町）  
公立みつぎ総合病院（尾道市）  
呉医療センター・中国がんセンター（呉市）  
四国がんセンター（愛媛県）  
東広島医療センター（東広島市）  
広島西医療センター（大竹市）  
広島記念病院（広島市中区）  
呉共済病院（呉市）  
井野口病院（東広島市）  
済生会広島病院（坂町）  
済生会呉病院（呉市）  
JA 尾道総合病院（尾道市）  
JA 広島総合病院（廿日市市）  
JA 吉田総合病院（安芸高田市）

市立三次中央病院（三次市）  
メリィホスピタル（広島市安佐南区）  
中国労災病院（呉市）  
広島共立病院（広島市安佐南区）  
広島市立北部医療センター安佐市民病院（広島市安佐北区）  
広島市立広島市民病院（広島市中区）  
ヒロシマ平松病院（広島市南区）  
広島市立舟入市民病院（広島市中区）  
県立二葉の里病院（広島市東区）  
福山循環器病院（福山市）  
マツダ病院（府中町）  
中電病院（広島市中区）  
心臓病センター榊原病院（岡山県）  
辰川会 山陽病院（福山市）  
柳井医療センター（山口県）  
呉市医師会病院（呉市）  
国立成育医療研究センター（東京都）  
安芸市民病院（広島市安芸区）  
三原市医師会病院（三原市）  
友愛医療センター（沖縄県）  
妹尾病院（安佐南区）

## 広島市民病院群外科専門研修プログラム

**基幹施設** : 地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立広島市民病院  
**住所** : 広島市中区基町7-33  
**担当** : 事務室総務課人事係(研修管理委員会) 小松・石津・長谷川・児玉  
**TEL** : 082-221-2291  
**mail** : hiro-kensyu@hcho.jp  
**URL** : <https://www.city-hosp.naka.hiroshima.jp/>  
**募集定員** : 4名

### プログラムの特徴

基幹病院の広島市民病院では外科専門医研修に必要とされる消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、乳腺外科、小児外科の5つの標榜科が揃っています。手術症例数は広島県下では最も多く、どの領域の症例数も豊富です。消化器、呼吸器、乳腺のがん手術や小児・成人心臓手術など高難度の手術を多く経験できる一方で、虫垂炎、胆石症、気胸、ヘルニアなどの低難度手術や緊急手術となる救急疾患も多く経験できます。これらの低難度手術や緊急手術を後期研修医が多く執刀できることが特徴です。3年間の研修のうち2年半は基幹病院の広島市民病院で行い、残り半年間は関連病院(広島市立舟入市民病院、庄原赤十字病院、川崎医科大学附属病院)で選択研修を行うことになります。

### 指導医から外科専攻医希望者へのメッセージ

当プログラムのうち広島市民病院では各標榜外科間で柔軟かつ横断的な連携が行われており、臨床力のある約25名の指導医による屋根瓦式の指導体制を整えています。手術症例は低難度手術から中・高難度手術まで豊富であり、専攻医の熟達度に応じて多数の手術を経験できます。また自由度の高いプログラムを組めることが魅力のひとつです。

広島で外科医として働きたいという希望を持つ専攻医を、当プログラムに是非受け入れたいと考えています。3年の間に外科医としての基礎能力を高めながら、自分の進路、方向性を考えていただければよいと思います。

今まで培ってきた専門医教育をもとに総合力の高い外科専門医の育成に努めたいと考えています。意欲のある専攻医のみなさんとともに働き、学べることを、指導医ほか職員一同楽しみにお待ちしております。

主任部長 吉田 龍一

### 当該プログラム専攻医から外科専攻医希望者へのメッセージ

当プログラムの魅力は高難度の手術と低難度の手術の両方を経験可能であることです。当院はがん拠点病院であり、悪性腫瘍手術件数は非常に多いです。その中には他科との合同手術が必要な複雑な症例もあります。若手の頃から高難度手術に触れることは非常に重要な事です。そして、習熟度によっては執刀の機会が与えられる場合があります。また、市内中心部という立地で救急医療が盛んであるという事もあり、虫垂炎、胆嚢炎、気胸などのcommon diseaseの手術、術前術後管理も学ぶことができます。そういった症例では若手外科医でも多くの執刀を経験させて頂いています。当院での外科研修を考えているみなさんとこの春から共に働く事ができることを楽しみにしております。

専攻医

### 【連携施設】

庄原赤十字病院 (庄原市)  
 広島市立舟入市民病院 (広島市中区)  
 川崎医科大学附属病院 (岡山県)

# 整形外科

## 広島大学整形外科専門研修プログラム

**基幹施設** : 広島大学病院  
**住所** : 広島市南区霞 1 - 2 - 3  
**担当** : 整形外科 医局長 中前 稔生  
**TEL** : 082-257-5231  
**mail** : nakamaet@hiroshima-u.ac.jp  
**URL** : <https://mkensyu.hiroshima-u.ac.jp/senmonkensyu/>  
**募集定員** : 14 名

### プログラムの特徴

本研修プログラムは広島大学病院および33連携施設（県内29施設、県外4施設）において実施され、都市のみでなく中山間部にも研修指定病院を有しており、ふるさと枠（地域枠）の勤務期間中も専門研修を継続できます。また、先端的な基礎研究やプロスポーツ選手のメディカルサポートなどに関わる機会を持つとともに、国内外での学術活動にも積極的に参加して早期から経験を積んでいただき、社会に貢献できる医師の育成を目指しています。

### 指導医から整形外科専攻医希望者へのメッセージ

医療の進歩によって平均寿命が着実に伸びている一方で、「健康寿命」は男女とも約10年短く、人生の最後の10年間は日常生活に制限のある状態での生活を強いられていることとなります。このことは少子高齢化社会の最大の問題である社会保障費の増大にも強く関連しています。この現状の中で、身体の動きを司る運動器を扱う整形外科の仕事は「健康寿命」の延伸につながり、そのニーズは高まる一方です。広島大学整形外科では診療による地域医療への貢献とともに、再生医療など新しい医療の開発に積極的に取り組んでおり、臨床応用の実績も数多くあげています。様々な面で、これからの医療・社会に貢献できるやりがいのある仕事ができると思います。

講師 庄司 剛士

### 当該プログラム専攻医から整形外科専攻医希望者へのメッセージ

私は平成26年に広島大学を卒業後、初期研修、後期研修の計4年間を大阪で過ごしました。地元は鹿児島で、大学は広島、就職は大阪と様々な都市を転々としており、今後の身の振り方の選択肢は無数にありました。その中でなぜ私は広島を選んだのか。傍目八目という諺をご存知でしょうか？第三者の方が当事者よりも物事を客観的に判断できるという意味です。私は海外留学、臨床・基礎研究に興味を持っていたので、全てができる場所を探したところ、今になって、広島こそ自分のやりたいことがあり、しかも国内トップレベルであることを知りました。傍目八目であるように、内からでは気づかない広島の素晴らしさが分かりました。広島で医療を学んでいることに自信を持ってください。そして誇りを持ってください。最高の環境に来れたことに私は満足しています。

卒後11年 橋口 直史

#### 【連携施設】

埼玉医科大学総合医療センター（埼玉県）  
 広島西医療センター（大竹市）  
 県立広島病院（広島市南区）  
 JA 広島総合病院（廿日市市）  
 呉医療センター・中国がんセンター（呉市）  
 市立三次中央病院（三次市）  
 松山赤十字病院（愛媛県）  
 中国労災病院（呉市）  
 県立安芸津病院（東広島市）  
 マツダ病院（府中町）  
 広島県立総合リハビリテーションセンター（東広島市）

公立世羅中央病院（世羅町）  
 済生会広島病院（坂町）  
 JA 吉田総合病院（安芸高田市）  
 土谷総合病院 広島手の外科・微小外科研究所（広島市中区）  
 三原赤十字病院（三原市）  
 東広島医療センター（東広島市）  
 中電病院（広島市中区）  
 松山市民病院（愛媛県）  
 市立八幡浜総合病院（愛媛県）  
 庄原赤十字病院（庄原市）  
 広島市立北部医療センター安佐市民病院（広島市安佐北区）  
 JA 尾道総合病院（尾道市）

整形外科

県立二葉の里病院（広島市東区）  
広島共立病院（広島市安佐南区）  
安芸太田病院（安芸太田町）  
広島市立広島市民病院（広島市中区）

三原市医師会病院（三原市）  
府中北市民病院（府中市）  
吉島病院（広島市中区）  
済生会呉病院（呉市）

## 呉医療センター・中国がんセンター整形外科専門研修プログラム

### Ⅱ型基幹施設： 国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター

住所 : 呉市青山町3-1  
 担当 : 整形外科 科長 山崎 琢磨  
 TEL : 0823-22-3111 (内線 7041)  
 mail : yamasaki.takuma.uf@mail.hosp.go.jp  
 URL : <https://kure.hosp.go.jp/rinshou/kouki.html>  
 募集定員 : 3名

### プログラムの特徴

当センターの整形外科専門医は5名(うち指導医5名)で、整形外科における専門分野として、股関節外科、膝関節外科、脊椎外科、骨軟部腫瘍外科を掲げています。また、四肢の骨折はもちろん骨盤骨折や多発外傷などの重度外傷症例も多く扱っており、幅広い領域の研修が可能です。また、連携施設は広島大学病院を中心とした46施設で、整形外科領域の研究や地域医療の研修も行えるようプログラムを組んでいます。

### 指導医から整形外科専攻医希望者へのメッセージ

整形外科では運動器の多くの疾患を治療対象としており、主に外傷などの急性疾患と骨・関節・脊椎疾患などの慢性疾患を扱っています。外科系の救急患者の多くが運動器の外傷により来院し、初期対応から手術治療あるいはリハビリテーションまで専門的な知識・技術が必要となります。また、運動器の慢性疾患では新生児から高齢者まで幅広い年齢層を対象としており、股関節手術および脊椎手術では県内でトップクラスの症例数を扱っています。

当センターは前身である呉海軍病院の創設より136年の歴史をもつ高度総合医療施設として、地域はもとより近県の医療を担っています。短期間でも構わないので、皆さんと一緒に診療に携われる日を楽しみにしています。

整形外科科長 山崎 琢磨

### 【Ⅰ型基幹施設】

広島大学病院(広島市南区)

### 【連携施設】

広島県立総合リハビリテーションセンター医療センター  
(東広島市)

広島市民病院(広島市中区)

広島市立北部医療センター安佐市民病院(広島市安佐北区)

松山赤十字病院(愛媛県)

松山市民病院(愛媛県)

JA 広島総合病院(廿日市市)

マツダ病院(府中町)

中電病院(広島市中区)

JR 広島病院(広島市東区)

済生会広島病院(坂町)

JA 尾道総合病院(尾道市)

広島共立病院(広島市安佐南区)

広島西医療センター(大竹市)

中国労災病院(呉市)

県立広島病院(広島市南区)

市立三次中央病院(三次市)

県立安芸津病院(東広島市)

公立世羅中央病院(世羅町)

JA 吉田総合病院(安芸高田市)

土谷総合病院 広島手の外科・微小外科研究所(広島市中区)

三菱三原病院(三原市)

東広島医療センター(東広島市)

市立八幡浜総合病院(愛媛県)

庄原赤十字病院(庄原市)

安芸太田病院(安芸太田町)

広島通信病院(広島市中区)

三原市医師会病院(三原市)

府中北市民病院(府中市)

広島市立リハビリテーション病院(広島市安佐南区)

吉島病院(広島市中区)

済生会呉病院(呉市)

## 広島赤十字・原爆病院整形外科専門研修プログラム

### Ⅱ型基幹施設： 広島赤十字・原爆病院

住所 : 広島市中区千田町一丁目 9 - 6  
 担当 : 整形外科 有馬 準一、土井 俊郎、福德 款章  
 TEL : 082-241-3111  
 mail : fukutoku@hiroshima-med.jrc.or.jp  
 URL : [https://www.hiroshima-med.jrc.or.jp/recruit/clinical\\_medical/](https://www.hiroshima-med.jrc.or.jp/recruit/clinical_medical/)  
 募集定員 : 2名

### プログラムの特徴

このプログラムでは九州大学と連携しながら、地域医療に貢献できるプライマリ・ケアから外科的治療、その後療法を含むリハビリテーション、並びに社会復帰につなげるための療養・介護を含む老人医療をシームレスに担える、幅広い視野をもった整形外科医を育てることを目標とします。

### 指導医から整形外科専攻医希望者へのメッセージ

広島赤十字・原爆病院整形外科研修プログラムを修了した専攻医は、あらゆる運動器に関する科学的知識と、幅広い基本的な臨床能力（知識・技能・態度）が身についた整形外科専門医となることができます。当院のプログラムは九州大学整形外科と連携し、専門的な研修も出来るように配慮されています。九州大学は、脊椎、股関節、膝関節・スポーツ医学、上肢・手外科、足の外科、小児整形外科、骨軟部腫瘍、リウマチ、骨代謝、リハビリテーションなどの診療・研究グループがあります。連携施設として、それぞれに特色をもった40以上の関連病院があり、当プログラムもそれら施設と連携し研修することにより、臨床・研究を偏りなく学ぶことができます。多くの手術症例を経験・執刀し、研修終了後に自立した整形外科医として診療が出来ることを目指します。

副院長、整形外科部長 有馬 準一

### 【Ⅰ型基幹施設】

九州大学病院（福岡県）

### 【連携施設】

九州鉄道記念病院（福岡県）  
 JCHO 登別病院（北海道）  
 福岡市立こども病院（福岡県）  
 総合せき損センター（福岡県）  
 下関市立市民病院（山口県）  
 九州がんセンター（福岡県）  
 九州医療センター（福岡県）  
 九州中央病院（福岡県）  
 九州労災病院（福岡県）  
 県立宮崎病院（宮崎県）  
 原三信病院（福岡県）  
 古賀病院 21（福岡県）  
 溝口外科整形外科病院（福岡県）  
 佐賀県医療センター好生館（佐賀県）  
 佐世保共済病院（長崎県）  
 山口赤十字病院（山口県）  
 諸岡整形外科病院（福岡県）  
 小倉医療センター（福岡県）  
 製鉄記念八幡病院（福岡県）  
 大分赤十字病院（大分県）

田川市立病院（福岡県）  
 唐津赤十字病院（佐賀県）  
 福岡県こども療育センター新光園（福岡県）  
 飯塚病院（福岡県）  
 福岡市民病院（福岡県）  
 福岡整形外科病院（福岡県）  
 福岡赤十字病院（福岡県）  
 北九州市立医療センター（福岡県）  
 北九州市立総合療育センター（福岡県）  
 JCHO 九州病院（福岡県）  
 浜の町病院（福岡県）  
 佐賀整肢学園こども発達医療センター（佐賀県）  
 佐田厚生会佐田病院（福岡県）  
 福岡豊栄会病院（福岡県）  
 別府医療センター（大分県）  
 福岡みらい病院（福岡県）  
 九州大学病院別府病院（大分県）  
 千早病院（福岡県）  
 福岡東医療センター（福岡県）  
 小倉記念病院（福岡県）  
 済生会八幡総合病院（福岡県）  
 医療法人一寿会西尾病院（福岡県）  
 社会医療法人泉和会 千代田病院（宮崎県）

## シムラ病院整形外科専門研修プログラム

### Ⅱ型基幹施設：医療法人社団曙会 シムラ病院

住所：広島市中区舟入町3-1-3  
 担当：管理本部 総務課長 岸本 竜士  
 TEL：082-294-5151  
 mail：kishimoto@shimura.or.jp  
 URL：https://shimura.hospital/  
 募集定員：3名

### プログラムの特徴

シムラ病院は広島市内に在り、二次輪番制度に参画し、整形外科の救急外傷を多く診療しています。また、脊椎外科や整形外科、骨粗鬆症などの専門分野の研修も可能です。

### 指導医から整形外科専攻医希望者へのメッセージ

複数の指導医のバックアップ体制のもと、一般的な整形外科や整形疾患を豊富に経験し、基本的な知識や技術を習得します。また、各領域の専門医と協働し、専門分野の知識も深めます。

副院長 池尻 好聰

### 当該プログラム専攻医から整形外科専攻医希望者へのメッセージ

広島市内の救急病院であり、数多くの救急車を受け入れておりますが、それに限らず外来診療においても多くの患者様が受診され、一般外傷だけでなく各関節の変性疾患、脊椎疾患、骨粗鬆症、スポーツ障害など専門分野に関しても研修でき、手術においても様々な症例を経験することが出来ます。各専門分野の整形外科常勤医師による指導が充実しており、日常診療、手術、リハビリテーションなど様々な面で学ぶことができ、良質な研修が出来るプログラムになっています。

卒後5年専攻医 古賀 大智

### 【Ⅰ型基幹施設】

福岡大学病院（福岡県）

### 【連携施設】

福岡大学筑紫病院（福岡県）

えにわ病院（北海道）

大分整形外科病院（大分県）

熊本整形外科病院（熊本県）

佐賀県医療センター好生館（佐賀県）

総合せき損センター（福岡県）

久恒病院（福岡県）

福岡山王病院（福岡県）

福岡徳洲会病院（福岡県）

福岡リハビリテーション病院（福岡県）

福岡和白病院（福岡県）

豊見城中央病院（沖縄県）

### 【連携施設（地域医療研修施設）】

飯塚市立病院（福岡県）

長崎県壱岐病院（長崎県）

川崎病院（福岡県）

昭和病院（福岡県）

戸畑共立病院（福岡県）

長崎県対馬病院（長崎県）

白十字病院（福岡県）

やよいがおか鹿毛病院（佐賀県）

福西会病院（福岡県）

マリン病院（福岡県）

南川整形外科病院（福岡県）

ヨコクラ病院（福岡県）

福岡歯科大学医科歯科総合病院（福岡県）

飯田病院（宮崎県）

福岡青洲会病院（福岡県）

諸岡整形外科病院（福岡県）

高木病院（福岡県）

佐田整形外科病院（福岡県）

## 浜脇整形外科病院専門研修プログラム

### Ⅱ型基幹施設：医療法人社団おると会 浜脇整形外科病院

住所：広島市中区大手町4丁目6-6  
 担当：事務部 事務部長 水橋 渡  
 TEL：082-240-1166  
 mail：mizuhashi@hamawaki.or.jp  
 URL：http://www.hamawaki.or.jp/  
 募集定員：1名

### プログラムの特徴

当院は整形外科専門病院です。外傷、関節、脊椎を3つの柱とし、スポーツ整形、リウマチ、手の外科等年間1,800例の手術を施行しています。  
 さらに、産業医科大学、大阪大学と連携しながら、地域医療に貢献できる急性期から回復期、維持期の医療と介護の幅広い視野をもった整形外科医を育てることを目標とします。  
 また、2024年4月からは泌尿器科を新設し、整形外科との連携を深めています。

### 指導医から整形外科専攻医希望者へのメッセージ

常勤の整形外科専門医7名、麻酔科専門医3名、泌尿器科専門医3名、内科専門医1名、さらに各科非常勤医師より専攻医をサポートさせていただきます。整形外科専門医は、脊椎、膝関節、股関節、肩・肘・手関節、リウマチ、外傷をそれぞれ専門とし、質の高い医療を提供しています。専攻医の皆さんにも、救急外来をはじめ、入院から手術、退院後の外来フォローまで指導医の元担当して頂きます。専攻医の皆さんが、これから整形外科領域の中でも特にどの分野を専門にしていくなか検討するためにも、幅広い疾患の治療や手術を経験することが可能です。さらに、泌尿器科を新設した事により、整形外科疾患との連携や尿路感染等への対応もスムーズに行われるようになりました。我々と一緒に、忠恕の心（真心と思いやり）を持って地域医療に貢献しましょう。

院長 大石 陽介

### 【Ⅰ型基幹施設】

大阪大学医学部附属病院（大阪府）  
 産業医科大学病院（福岡県）

### 【連携施設】

大阪医療センター（大阪府）  
 大阪急性期・総合医療センター（大阪府）  
 JCHO 大阪病院（大阪府）  
 市立池田病院（大阪府）  
 ベルランド総合病院（大阪府）  
 星ヶ丘医療センター（大阪府）  
 行岡病院（大阪府）  
 りんくう総合医療センター（大阪府）  
 関西労災病院（兵庫県）  
 川西市立総合医療センター（兵庫県）  
 姫路赤十字病院（兵庫県）  
 健愛記念病院（福岡県）  
 戸畑共立病院（福岡県）

北九州市立八幡病院（福岡県）  
 産業医科大学若松病院（福岡県）  
 川崎整形外科病院（大分県）  
 長崎労災病院（長崎県）  
 関東労災病院（神奈川県）  
 北九州総合病院（福岡県）  
 戸畑総合病院（福岡県）  
 芦屋中央病院（福岡県）  
 門司メディカルセンター（福岡県）  
 福岡新水巻病院（福岡県）  
 香川労災病院（香川県）  
 小波瀬病院（福岡県）  
 直方病院（福岡県）  
 北出病院（和歌山県）  
 新小倉病院（福岡県）  
 大阪医科薬科大学附属病院（大阪府）  
 北海道せき損センター（北海道）

# 産婦人科

## 広島大学産婦人科専門研修プログラム

### 基幹施設（総合型指導施設）： 広島大学病院

住所 : 広島市南区霞 1 - 2 - 3  
 担当 : 産科婦人科 教授 山口 建  
 TEL : 082-257-5262  
 mail : sanfu@hiroshima-u.ac.jp  
 URL : <https://mkensyu.hiroshima-u.ac.jp/senmonkensyu/>  
 募集定員 : 12 名

### プログラムの特徴

専攻医に必要な基礎知識や診療技術、地域医療をはじめ、専門領域である4分野（腫瘍、周産期、生殖内分泌、女性ヘルスケア）を基幹施設である広島大学病院および連携10施設で研修します。地域医療を経験できる施設は8施設あり、婦人科腫瘍では腹腔鏡手術の研修も積極的に行います。周産期医療ではNICUの研修も含み、生殖医療は県立広島病院で研修します。基礎から先進的医療まで目標に沿って幅広く研修が可能です。

### 指導医から産婦人科専攻医希望者へのメッセージ

産婦人科は、妊娠・分娩から悪性腫瘍、さらには思春期から老年期まで、女性の一生を支える幅広い診療を担う領域です。当科では地域の中核として高度急性期医療を担い、腹腔鏡手術やロボット手術、がんゲノム医療、出生前診断、妊孕性温存など先進的な医療にも積極的に取り組んでいます。当プログラムでは、臨床能力を着実に高めると同時に、研究や教育に触れる機会も豊富です。私たち指導医は、皆さんが安心して研修に打ち込み、大きく成長できるよう丁寧にサポートしていきます。多彩な研修施設と熱意あるスタッフとともに、広島県の産婦人科医療をさらに発展させていきましょう。

医局長 大森 由里子

### 当該プログラム専攻医から産婦人科専攻医希望者へのメッセージ

専攻医卒業後5年目の増成寿浩と申します。産婦人科は、妊娠・出産を支える周産期、子宮卵巣の腫瘍に対する手術や化学療法を扱う婦人科腫瘍、不妊にかかわる生殖内分泌、そして女性の生涯の健康・QOLを支える女性医学の4分野から成り立っています。専攻医として、これらの領域について県内の連携施設を回りながら学んでいます。日々勉強や、手術トレーニングに追われながらも経験豊富で人間的な魅力にもあふれる指導医の先生方とチーム医療の支えのもと、充実した毎日を過ごしています。広島大学産婦人科専門研修プログラムは、県内に多くの連携施設を有し、多彩な症例を経験できる点が強みです。女性の一生に寄り添う産婦人科医を目指し、広島県の産婦人科医療と一緒に盛り上げていきましょう！

卒業5年専攻医 増成 寿浩

### 【連携施設（連携型）】

呉医療センター・中国がんセンター（呉市）  
 東広島医療センター（東広島市）  
 県立広島病院（広島市南区）  
 広島市立北部医療センター安佐市民病院（広島市安佐北区）  
 市立三次中央病院（三次市）  
 広島赤十字・原爆病院（広島市中区）  
 JA 広島総合病院（廿日市市）  
 JA 尾道総合病院（尾道市）  
 土谷総合病院（広島市中区）  
 四国がんセンター（愛媛県）

## 広島市立広島市民病院産婦人科専門研修プログラム

**基幹施設（総合型指導施設）：** 地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立広島市民病院

住所 : 広島市中区基町7-33

担当 : 事務室総務課人事係（研修管理委員会） 小松・石津・長谷川・児玉

TEL : 082-221-2291

mail : hiro-kensyu@hcho.jp

URL : <https://www.city-hosp.naka.hiroshima.jp/>

募集定員 : 2名

### プログラムの特徴

広島市民病院専門研修プログラムでは広島市立広島市民病院産婦人科を基幹施設とし、連携施設（岡山大学病院、興生総合病院、岩国医療センター）とともに研修施設群を形成して専攻医の指導にあたります。連携施設にはそれぞれ得意とする産婦人科診療内容があり、基幹施設を中心として連携施設をローテーションする事で生殖医療、婦人科腫瘍、周産期、女性のヘルスケアの4領域を万遍なく十分に研修する事が可能です。

### 指導医から産婦人科専攻医希望者へのメッセージ

広島市民病院産婦人科は、産婦人科専攻医指導施設、総合周産期母子医療センター、婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設、産婦人科内視鏡学会認定研修施設、女性ヘルスケア認定研修施設などに認定されています。年間分娩数は約900件、手術件数は約1,350件です。当科で分娩する妊婦さんの多くは、何らかのリスクを有しているいわゆるハイリスク妊婦さんですので、他院では経験できない様々な症例を短期間で習得することが可能です。

また、当科では低侵襲手術である腹腔鏡下手術を積極的に取り入れています。今後、腹腔鏡下手術は必須の手技となりますが、当プログラムでは後期研修医の間に腹腔鏡下子宮全摘術の術者が可能になる様に指導いたします。産婦人科は、女性の一生をトータルでサポートする科です。私たちと一緒に、楽しく研修をしていきましょう。

主任部長 鎌田 泰彦

### 【連携施設（連携型）】

岡山大学病院（岡山県）

興生総合病院（三原市）

岩国医療センター（山口県）

# 眼 科

## 広島大学眼科専門研修プログラム

**基幹施設** : 広島大学病院  
**住所** : 広島市南区霞 1 - 2 - 3  
**担当** : 眼科 講師 日山 知奈  
**TEL** : 082-257-5247  
**mail** : ganka@hiroshima-u.ac.jp  
**URL** : <https://mkensyu.hiroshima-u.ac.jp/senmonkensyu/>  
**募集定員** : 7名

### プログラムの特徴

広島大学眼科は網膜硝子体、角膜、緑内障、眼形成、ぶどう膜炎、斜視・弱視、神経眼科、未熟児網膜症、特殊コンタクト、ロービジョン外来など、多岐にわたる専門外来を設けています。外来と手術日を分け集中できる体制です。1年目は広島大学病院で基礎を学び、2年目以降は関連病院で臨床経験を積みます。手術件数は国内有数で症例も豊富です。研究・留学も可能で、女性医師の復職率はほぼ100%と働きやすい環境です。

### 指導医から眼科専攻医希望者へのメッセージ

眼科の魅力は、内科的・外科的治療を自科で完結できる点にあります。精密な組織を扱うため高度な知識と技術が求められますが、その分やりがいも大きく、新しい検査機器や治療法の開発につながる可能性も秘めています。広島大学眼科は人材が豊富で、網膜・角膜・緑内障など各グループが連携し、合併症を有する複雑な症例に対しても適切な治療を提供しています。若手医師も早期から多くの症例に携わることができ、臨床力を培いながら研究や国内外での留学を通じて視野を広げ、多彩なキャリア形成が可能です。また、女性医師も多く在籍し、多様な働き方を支える環境が整っており、長期的なキャリア形成も可能です。向上心を持つ仲間と共に切磋琢磨し、ぜひ一緒に成長していきましょう。

講師 日山 知奈

### 当該プログラム専攻医から眼科専攻医希望者へのメッセージ

広島大学病院眼科は網膜、緑内障、角膜、ぶどう膜、眼形成、斜視、弱視、小児、未熟児、神経眼科、ロービジョンの専門外来があり、主に3つのグループに分かれ日々診療しています。専攻医1年目は大学病院にて各グループを1年かけてローテートし、網羅的かつ専門性の高い研修を行います。専攻医2年目以降は中核病院にて一般眼科診療を行います。上級医はもちろん大学病院の医師にも相談できる環境で、専攻医5年目に眼科専門医を取得予定としています。さらに普段の外来・病棟診察と並行して上級医の先生方にご指導いただきながら学会への参加や論文の執筆に携わることも可能です。ご覧のように幅広いニーズに対応できるプログラムとなっていますので、興味ある先生方は是非見学にいらしてください。

卒後3年専攻医 稲田 瑛介

#### 【連携施設】

県立広島病院（広島市南区）  
 広島市立北部医療センター安佐市民病院（広島市安佐北区）  
 広島赤十字・原爆病院（広島市中区）  
 JA 尾道総合病院（尾道市）  
 市立三次中央病院（三次市）  
 済生会呉病院（呉市）

JA 広島総合病院（廿日市市）  
 吉島病院（広島市中区）  
 県立二葉の里病院（広島市東区）  
 マツダ病院（安芸郡）  
 呉医療センター・中国がんセンター（呉市）  
 ツカザキ病院（兵庫県）  
 木村眼科内科病院（呉市）

# 耳鼻咽喉科

## 広島大学の耳鼻咽喉科・頭頸部外科専門研修プログラム

**基幹施設** : 広島大学病院  
**住所** : 広島市南区霞 1 - 2 - 3  
**担当** : 耳鼻咽喉科学・頭頸部外科学 講師 石野 岳志  
**TEL** : 082-257-5252  
**mail** : tishino@hiroshima-u.ac.jp  
**URL** : <https://mkensyu.hiroshima-u.ac.jp/senmonkensyu/>  
**募集定員** : 8名

### プログラムの特徴

当プログラムは4年間で専門医として必要十分な知識と技術を獲得できることはもちろん、広島大学を中心に広島県下の関連病院にご協力いただくことにより、どの領域においても豊富な症例を経験することが可能となり、総合的な耳鼻咽喉科・頭頸部外科医を育成することができます。さらに募集人数は、プログラム全体での受け入れ可能な上限を考慮し余裕をもって設定しています。症例不足に陥る心配がなく、安心して研修することができます。

### 指導医から耳鼻咽喉科専攻医希望者へのメッセージ

耳鼻咽喉科・頭頸部外科は「小さな宇宙」と呼べるほど、多種多様な専門領域をカバーしています。すなわち、1)アレルギー・免疫学、鼻科手術、2)耳科学・平衡感覚、3)顔貌、コスメティクス、4)甲状腺疾患、扁桃疾患、内分泌外科、5)コミュニケーション、音声言語、嚥下・咀嚼、6)頭頸部悪性腫瘍(頭頸部外科)、などサブスペシャリティの進路選択にも多くのオプションが用意されています。外科的技量はもとより内科的診断能力も要求される多彩な疾患を担当しており、感覚器外科・腫瘍外科として多種多彩な専門分野と境界領域 - ヒトの五感のうち三感 - が守備範囲といえます。

本プログラムでは、広島県各地区等の主要な病院と連携して、質の高い研鑽を積むことができるように組んでいます。将来の広島県の耳鼻咽喉科診療を我々と共に支え、発展させる意欲と情熱のある先生方と一緒に働ける日を心待ちにしております。

教授 竹野 幸夫

### 当該プログラム専攻医から耳鼻咽喉科専攻医希望者へのメッセージ

耳鼻咽喉科・頭頸部外科は、耳、鼻、咽喉頭と頭頸部に至る非常に広範な領域をカバーしており、内科的な診療から外科的な治療まで幅広く取り扱っています。このため、自分の興味や関心に沿った専門分野を見つけやすく、診療の幅が広いことが大きな魅力です。また、子どもから高齢者まで患者層の幅も広く、診断から治療まで一貫して携わることができることも耳鼻咽喉科・頭頸部外科の特徴の一つです。

日々の診療では、指導医の先生方がいつでも相談に乗ってくださり、丁寧な指導のもとで取り組むことができます。また、手技や手術の機会も豊富にあり、専攻医として早い段階から積極的に診療に関与できる環境が整っています。

さらに、最近では女性の入局者も増えてきており、男女問わずライフステージに合わせて柔軟に働き方を調整できることも当科の魅力の一つです。

ぜひ一度見学にお越しください。お会いできる日を楽しみにしています。

【教室HP】 <https://jibika.hiroshima-u.ac.jp/>

卒後3年専攻医 武田 ちなみ

### 【連携施設】

県立広島病院（広島市南区）  
 広島赤十字・原爆病院（広島市中区）  
 市立三次中央病院（三次市）  
 呉医療センター・中国がんセンター（呉市）

広島市立北部医療センター安佐市民病院（広島市安佐北区）  
 JA尾道総合病院（尾道市）  
 東広島医療センター（東広島市）  
 呉共済病院（呉市）  
 マツダ病院（府中町）

中国労災病院（呉市）  
 JA広島総合病院（廿日市市）  
 県立二葉の里病院（広島市東区）  
 四国がんセンター（愛媛県）  
 東京医科大学病院（東京都）

## 広島市民病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科専門研修プログラム

**基幹施設** : 地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立広島市民病院  
**住所** : 広島市中区基町7-33  
**担当** : 事務室総務課人事係 (研修管理委員会) 小松・石津・長谷川・児玉  
**TEL** : 082-221-2291  
**mail** : hiro-kensyu@hcho.jp  
**URL** : <https://www.city-hosp.naka.hiroshima.jp/>  
**募集定員** : 2名

### プログラムの特徴

高度専門治療であるがん拠点病院として頭頸部癌に対し、放射線科・形成外科・腫瘍内科並びに緩和ケアチーム、栄養サポートチーム、摂食嚥下機能チームなどの院内各部門と連携を図り、チーム医療に当たっています。一方で耳科、鼻科、咽頭などの症例も豊富で手術室で行う手術件数が850件と多く、幅広い分野を学ぶことができます。小児例も多数で、人工内耳手術も中四国有数の症例数です。5名の言語聴覚士が在籍し、耳鼻咽喉科検査や音声障害や嚥下障害のリハビリにも幅広く対応しています。4年間の研修を終えた際には様々な症例に対応できる耳鼻科医に成長していただけることを目標として、きめ細かな指導を心がけています。

### 指導医から耳鼻咽喉科専攻医希望者へのメッセージ

広島市民病院耳鼻咽喉科頭頸部外科専門研修プログラムでは、専門研修基幹施設である広島市民病院と関連研修施設である岡山大学病院、熊本大学病院、医療福祉大学成田病院、福山市民病院において、それぞれの特徴を活かした耳鼻咽喉科・頭頸部外科の専門研修を行い、日耳鼻が定めた研修到達目標や症例経験基準に掲げられた疾患や手術を経験します。

4年間の研修期間の内、1～2年目は広島市民病院にて耳鼻咽喉科の基本的知識、診療技術を習得します。3あるいは4年目は選択制となり、連携施設である岡山大学病院、熊本大学病院、医療福祉大学成田病院、福山市民病院で研修を積んでいただきます。各専門分野の高度な手術、頭頸部悪性腫瘍に対する手術、放射線化学療法、緩和医療など主治医として担当して頂きます。少しでも興味がある方は是非一度見学にいらしてください。

耳鼻咽喉科主任部長 江草 憲太郎

### 【連携施設】

岡山大学病院 (岡山県)

熊本大学病院 (熊本県)

国際医療福祉大学 成田病院 (千葉県)

福山市民病院 (福山市)

# 泌尿器科

## 広島大学泌尿器科専門研修プログラム

**基幹施設** : 広島大学病院  
**住所** : 広島市南区霞 1 - 2 - 3  
**担当** : 腎泌尿器科学 教授 日向 信之  
**TEL** : 082-257-5242  
**mail** : hinata@hiroshima-u.ac.jp  
**URL** : <https://mkensyu.hiroshima-u.ac.jp/senmonkensyu/>  
**募集定員** : 8名

### プログラムの特徴

本プログラムでは、基幹施設である広島大学病院において高度な医療に携わり、本邦の先進的な医療を経験し学ぶことができます。地域医療を担う連携病院での研修では、泌尿器科専門医として必要な一般および専門的な実診療での修練を積みます。知識・技能を磨くのみならず、広島県の医療事情に対する深い理解を有した、広島県全域を支える真の泌尿器科エキスパートを育成することを目指しております。

### 指導医から泌尿器科専攻医希望者へのメッセージ

人の手ではほとんど不可能な精緻な動きを実現するロボット手術を、日本はもとより世界においてもリードしてきたのが腎泌尿器科です。これから到来するであろう本格的な「ロボット手術時代」に対応するためにも、質の高いトレーニングを積んだ人材の育成が急務だといえます。そこで本科では、ロボット手術の免許取得者が13人、安全に指導できると認定された手術指導医（プロクター）が10人という環境の中、できるだけ若手のうちから手術支援ロボットに触れる機会を設け、経験を積めるよう万全なバックアップ体制を整えています。本科の魅力はこれにとどまりません。例えば、分業することなく一人の患者さんを治療の最初から最後まで診るケースが多いため、医師としてのやりがいを感じられる場面がたくさんあります。また、一口に腎泌尿器科と言っても、癌、感染症、排尿障害、結石、男性不妊、女性泌尿器科、小児泌尿器科など、その領域は多岐にわたります。自身の個性や得意なことを生かし、長く活躍できるフィールドがきっと見つかるはずです。本科の理念は「和を以って、ともに未踏の高みをめざす」。臨床医としても、研究者としても、人間としても成長できる環境で、新しくクリエイティブなことに挑戦しませんか？腎泌尿器の神髄を学び、一緒に未来を切り拓いてくれる仲間を待ち望んでいます。

教授 日向 信之

### 当該プログラム専攻医から泌尿器科専攻医希望者へのメッセージ

卒後6年目の井開と申します。現在、広島大学病院で泌尿器科専門研修を行っております。泌尿器科の魅力は内科的、外科的両方のアプローチがあることだと思います。悪性腫瘍に対する手術療法や化学療法などは勿論、排尿障害の内科的治療など、尿路関連疾患を幅広く診療します。また手術に関しても、ロボット手術や腹腔鏡手術、開腹手術など様々な手技を経験することができます。一連の診断、治療を自科のみで完結できるため、責任や勉強することは多いですが、その一方でやりがいも非常に多い分野であると感じております。広島大学では若手に積極的に手技や手術の機会を与える方針で、私自身多くの症例経験を積むことができ、非常に充実した研修を過ごすことができ、泌尿器科をめざす人が一人でも増えればと楽しみにお待ちしております。

卒後6年専攻医 井開 拓実

#### 【連携施設（診療拠点病院）】

JA 広島総合病院（廿日市市）  
 呉医療センター・中国がんセンター（呉市）  
 中津第一病院（大分県）  
 たかの橋中央病院（広島市中区）  
 マツダ病院（府中町）  
 県立広島病院（広島市南区）  
 広島西医療センター（大竹市）

市立三次中央病院（三次市）  
 小島病院（福山市）  
 中国労災病院（呉市）  
 松山赤十字病院（愛媛県）  
 福山医療センター（福山市）  
 広島市立北部医療センター安佐市民病院（広島市安佐北区）  
 JR 広島病院（広島市東区）  
 中電病院（広島市中区）

東広島医療センター（東広島市）  
JA 尾道総合病院（尾道市）

【連携施設（地域中核病院）】

光仁会 梶川病院（広島市西区）

# 脳神経外科

## 脳神経外科専門研修広島大学大学院医系科学研究科プログラム

**基幹施設** : 広島大学病院  
**住所** : 広島市南区霞 1 - 2 - 3  
**担当** : 脳神経外科 教授 堀江 信貴  
**TEL** : 082-257-5225  
**mail** : horie@hiroshima-u.ac.jp  
**URL** : <https://mkensyu.hiroshima-u.ac.jp/>  
**募集定員** : 6名

### プログラムの特徴

広島大学脳神経外科では、専攻医は専門医試験までの4年間を大学病院を含めた基幹・連携施設で研修します。悪性・良性脳腫瘍、脳血管障害(血管内治療を含む)、てんかん外科、脊髄・脊椎外科や頭蓋底外科といった疾患単位の診療グループと技術や手技単位のグループを構成しています。さらに、小児神経外科に関しても、それぞれの領域中に経験できますので、あらゆる領域をオールラウンドに経験することができます。

### 指導医から脳神経外科専攻医希望者へのメッセージ

広島大学脳神経外科学教室は1974年に開講された歴史ある教室です。当教室およびその関連施設が推進している脳神経外科専門医教育プログラムは、毎年優れた脳神経外科のスペシャリストを輩出しています。常に新しい治療法を取り入れ、脳血管内手術や内視鏡手術をはじめとした低侵襲手術を積極的に進めています。

脳神経外科学は学問としても飛躍的な進歩を遂げており、神経解剖・機能、遺伝子診断、神経放射線、電気生理など多くの領域で日々新しい知見が得られています。従いまして10年後20年後の脳神経外科診療は全く別次元のものになる可能性もあり、どこよりも刺激的かつ魅力的な学問であることも断言できます。

教授 堀江 信貴

### 当該プログラム専攻医から脳神経外科専攻医希望者へのメッセージ

卒後3年目で、現在広島大学病院に勤務しております檜井孝太と申します。

私は脳神経外科という分野に強く魅了され、当科に入局いたしました。専門性の高さと多岐にわたる領域があり、日々新しい学びと発見に満ちています。各分野に精通した上級医の先生方から丁寧かつ実践的な指導を直接受けることができ、非常に充実した時間を過ごしております。医局の雰囲気も明るく、周りに相談しやすい環境であり、不安や孤立を感じることはありません。また、広島大学では仕事だけでなく、私生活との兼ね合いも大切にされています。夏のBBQや野球大会など、オフのイベントにも力を入れており、医局全体でリフレッシュの機会を楽しんでいます。初期研修医や学生の皆様、ぜひ一度、広島大学脳神経外科を見学して、その魅力を直接体感してみてください。

卒後3年専攻医 檜井 孝太

#### 【連携施設】

県立広島病院（広島市南区）  
 広島赤十字・原爆病院（広島市中区）  
 広島市立北部医療センター安佐市民病院（広島市安佐北区）  
 呉医療センター・中国がんセンター（呉市）  
 中国労災病院（呉市）  
 東広島医療センター（東広島市）  
 市立三次中央病院（三次市）  
 島根県立中央病院（島根県）

松江赤十字病院（島根県）  
 松山赤十字病院（愛媛県）  
 マツダ病院（府中町）  
 荒木脳神経外科病院（広島市西区）  
 五日市記念病院（広島市佐伯区）

#### 【関連施設】

JA 広島総合病院（廿日市市）  
 JA 尾道総合病院（尾道市）  
 三原城町病院（三原市）

# 放射線科

## 広島放射線科専門研修プログラム

**基幹施設** : 広島大学病院  
**住所** : 広島市南区霞 1 - 2 - 3  
**担当** : 放射線診断科 診療准教授 立神 史稔  
           : 放射線治療科 准教授 西淵 いくの  
**TEL** : 082-257-5257 (診断)、082-257-1545 (治療)  
**mail** : hirosima-pro@hirosima-u.ac.jp (共通)  
**URL** : <https://mkensyu.hirosima-u.ac.jp/senmonkensyu/>  
**募集定員** : 10 名

### プログラムの特徴

広島県内の主要総合病院を擁し、高度な放射線科の診療技術の速やかな習得が目標です。診断、治療とも必要十分な経験症例を通して、疾患への理解を深めつつ臨床に即した実践的な研修が可能です。他科との意見交換も積極的に行い、高いコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力の習得も可能です。さらに、進路に関しては、専門医取得を目指すと同時に、大学院生として早期より医学研究を進めるなど幅広い対応が可能です。

### 指導医から放射線科専攻医希望者へのメッセージ

放射線による診断・治療は悪性腫瘍を中心に現代医療で必要不可欠の領域です。放射線科専門医の取得後は診断・治療領域の知見をさらに深め、より高次の専門医資格を取得できます。診断専門医の責務は、高度に進歩した画像内の膨大な情報を紐解き、依頼医師の正しい診断を援護することです。さらに、適正な画像検査を安全に実施するため、他の医療従事者と協力して病院全体の医療の質を高める責任もあります。治療専門医の責務は「切らずに治す」がん治療を目指して、高精度放射線治療などの最新技術を用いた治療の推進や、多施設臨床試験を通じたエビデンスを確立することです。放射線検査・治療の有用性を今以上に高め、診療現場に適切に反映するには、さらに多くの優秀な放射線科専門医が必要です。未来の放射線診療を一緒に支えていきましょう。

放射線診断科 診療准教授 立神 史稔  
 放射線治療科 准教授 西淵 いくの

### 当該プログラム専攻医から放射線科専攻医希望者へのメッセージ

広島放射線科専門研修プログラムでは画像診断法 (X線、超音波、CT、MRI、核医学)、IVR、放射線治療並びに放射線の安全管理の知識を習得することができます。放射線診断医・治療医として大学病院もしくは市中病院で勤務しつつ、研修プログラム4年目の放射線科認定医、6年目の放射線診断・治療専門医を目指します。希望があれば、学会発表や、認定医・専門医取得前でも大学院生として研究に従事することも可能です。日々の業務は、診断医であれば主にCTやMRIの撮影内容の指示・読影・IVR、治療医であれば放射線治療計画、外来・入院患者対応、Tumorboardへの参加などを行います。研修施設は充実しており、画像診断や放射線治療に興味がある先生方には充実した研修になることと思います。広島の放射線診療を支える仲間が増えてくれることを願います。

卒後4年専攻医 谷 茂行

#### 【連携施設】

広島市民病院 (広島市中区)  
 県立広島病院 (広島市南区)  
 広島赤十字・原爆病院 (広島市中区)  
 JA 広島総合病院 (廿日市市)  
 中国労災病院 (呉市)

呉医療センター・中国がんセンター  
 (呉市)  
 JA 尾道総合病院 (尾道市)  
 東広島医療センター (東広島市)  
 市立三次中央病院 (三次市)  
 土谷総合病院 (広島市中区)  
 県立二葉の里病院 (広島市東区)

広島市立北部医療センター安佐市民  
 病院 (広島市安佐北区)  
 中電病院 (広島市中区)  
 広島県立広島がん高精度放射線治療  
 センター (広島市東区)

#### 【関連施設】

呉市医師会病院 (呉市)

## 福山市民病院放射線科専門研修プログラム

**基幹施設** : 福山市民病院  
**住所** : 福山市蔵王町五丁目23番1号  
**担当** : 経営企画部 病院総務課 松本 友哉  
**TEL** : 084-941-5151  
**mail** : shimin-byouin@city.fukuyama.hiroshima.jp  
**URL** : <https://www.fc-hosp.jp/>  
**募集定員** : 5名

### プログラムの特徴

本プログラムは、福山市民病院放射線科を専門研修基幹施設として、岡山大学病院放射線科、岡山市立市民病院放射線科、岡山医療センター放射線科、福山医療センター放射線科、中国中央病院放射線科を専門研修連携施設として加えた専門研修施設群を統括する専門研修プログラムです。  
専門研修施設群では、研修施設それぞれの特徴を生かし、専門研修カリキュラムに掲げられた目標に則って放射線科領域専門研修を行います。

### 【連携施設】

岡山大学病院（岡山県）  
岡山市立市民病院（岡山県）  
福山医療センター（福山市）  
中国中央病院（福山市）  
岡山医療センター（岡山県）

# 麻醉科

## 広島大学麻酔科専門研修プログラム

**基幹施設** : 広島大学病院  
**住所** : 広島市南区霞 1 - 2 - 3  
**担当** : 麻酔科 講師 三好 寛二  
**TEL** : 082-257-5267  
**mail** : h-miyoshi@hiroshima-u.ac.jp  
**URL** : <https://mkensyu.hiroshima-u.ac.jp/senmonkensyu/>  
**募集定員** : 18名

### プログラムの特徴

広島県内の主要な病院を連携施設としており、心臓血管麻酔、小児・産科麻酔、救急・集中治療、ペインクリニック・緩和医療など、各サブスペシャリティを網羅したバランスの取れた病院群で構成したプログラムとなっています。研修期間が終わるころには全員が自信を持って麻酔をかけることができるようになっています。専攻医が多く所属していますが、全員とても仲良くお互いに切磋琢磨して楽しい雰囲気の中で研修を進めています。

### 指導医から麻酔科専攻医希望者へのメッセージ

麻酔科の主な仕事は、手術を受ける患者さんの周術期管理で、患者さんの命を預かる、責任の重い仕事です。新生児から超高齢者、様々な合併症をもつ患者さんの全身管理を行いますので、麻酔科医には幅広い知識と経験が要求されます。特に最初はプレッシャーもありますし勉強することがたくさんあるので大変だと思えますが、安心して研修が送れるように皆さんを全力で支援しています。周術期の麻酔管理のほか、集中治療や救急医療、ペインクリニック、緩和ケアなども行っていますので、将来、自分の得意とする分野を見つけて活躍していただければと思います。専門医試験に向けた準備のサポートも行っています。当プログラムでは熱心な指導医が専攻医の先生方がチームの一員として幅広い分野で活躍できるようにサポートしていきます。一緒に頑張りましょう！

麻酔科講師 三好 寛二

### 当該プログラム専攻医から麻酔科専攻医希望者へのメッセージ

広島大学のプログラムでは、ほとんどが大学病院で後期研修1年目をスタートします。麻酔科専門医の取得には、心臓血管外科、胸部外科、脳神経外科、小児、帝王切開の各分野に対して必要経験症例数が定められていますが、1年目の研修のうちに、その多くを経験することができます。指導医の先生方は、皆さん気さくで優しく、丁寧に指導して下さるため、とても相談しやすいです。また、大学は上級医の先生の数が多く、心外や集中治療などのサブスペシャリティを持った先生や、ママさんの先生も沢山いらっしゃるの、将来どのように働きたいか、というイメージが湧きやすい環境だと思います。麻酔科に興味がある方は、ぜひ一度見学や説明会に来ていただき、当科の雰囲気を感じていただきたいです。皆さんとお会いできることを楽しみにしています。

卒後4年専攻医 橋本 綾乃

#### 【連携施設 A】

県立広島病院（広島市南区）  
 広島市立北部医療センター安佐市民病院（広島市安佐北区）  
 JA 広島総合病院（廿日市市）  
 呉医療センター・中国がんセンター（呉市）  
 JA 尾道総合病院（尾道市）  
 広島赤十字・原爆病院（広島市中区）  
 中国労災病院（呉市）  
 東広島医療センター（東広島市）

市立三次中央病院（三次市）  
 土谷総合病院（広島市中区）  
 マツダ病院（府中町）  
 県立二葉の里病院（広島市東区）  
 広島県立総合リハビリテーションセンター（東広島市）  
 JA 吉田総合病院（安芸高田市）  
 中電病院（広島市中区）  
 シムラ病院（広島市中区）

## 広島市立広島市民病院麻酔科専門研修プログラム

**基幹施設** : 地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立広島市民病院  
**住所** : 広島市中区基町7-33  
**担当** : 事務室総務課人事係(研修管理委員会) 小松・石津・長谷川・児玉  
**TEL** : 082-221-2291  
**mail** : hiro-kensyu@hcho.jp  
**URL** : <https://www.city-hosp.naka.hiroshima.jp/>  
**募集定員** : 8名

### プログラムの特徴

当院麻酔科は、麻酔管理・周術期管理・集中治療を一連の重症患者における生体管理学として一括し、一元管理を行っています。

4年間の麻酔科専門医研修期間中にER勤務、6ヶ月連続の集中治療室専従を含む集中治療専門医取得を視野にいたした集中治療に関する研修を、また同時に心臓血管麻酔専門医取得を視野に入れた心臓手術の麻酔管理、術後管理についての研修を行っていきます。

### 指導医から麻酔科専攻医希望者へのメッセージ

麻酔を軸としたICU管理、ICUをベースにした麻酔管理は、重症患者管理のみならず通常の周術期管理においても非常に優れたシステムであるという事は私は日々実感しています。当院麻酔科では、麻酔周術期管理、集中治療担当医制を通じて主体性をもって関連領域と連携できるコミュニケーション能力、管理運営能力を習得することに重点を置き、更に救命センター・RRS運用で応用能力を磨いています。

当院は手術症例も多くその種類も多岐にわたっているので知識、技術の習得も容易ですが、個人の技術を超えた状況ではチームをまとめる能力が欠かせません。是非われわれスタッフとともに研修することによって患者さんに最適な医療を提供できる実感を共有してほしいと思っています。

麻酔科主任部長 藤中 和三

### 当該プログラム専攻医から麻酔科専攻医希望者へのメッセージ

麻酔科医として2ヶ月がたった今、非常に充実した毎日を送っています。症例数は非常に多く、成人心臓麻酔のほか、小児心臓麻酔も早くから経験でき、毎日沢山のことを吸収し、成長できている実感があります。また、当院ではICU入室症例は麻酔科医がICU退室まで担当医となり治療にあたっております。後期研修医も治療方針について主体的に関わることができ、上級医との垣根も低いため、相談もすぐにする事ができます。

麻酔とICUの両方を行うため忙しさはありますが、全身管理について麻酔をベースに学び、実践することができます。当院での後期研修を選択し、本当によかったと思っています。超急性期医療と一緒に頑張ってみませんか？

専攻医

### 【連携施設 A】

岩国医療センター(山口県)  
 呉共済病院(呉市)  
 興生総合病院(三原市)  
 尾道市立市民病院(尾道市)  
 岡山大学病院(岡山県)  
 高知大学医学部附属病院(高知県)  
 昭和大学病院(東京都)

## 呉医療センター・中国がんセンター麻酔科専門研修プログラム

基幹施設 : 国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター  
住所 : 呉市青山町3-1  
担当 : 麻酔科 麻酔科科長 讃岐 美智義  
TEL : 0823-22-3111  
mail : msanuki@msanuki.com  
URL : <https://kure.hosp.go.jp/rinshou/kouki.html>  
募集定員 : 2名

### プログラムの特徴

本研修プログラムでは、地域医療およびがん診療に特化した専門研修基幹病院での研修を特徴とし、心臓血管麻酔、小児麻酔、集中治療などのサブスペシャリティーにも配慮したオールマイティーな麻酔科医をめざす。

研修終了後は、広島県の地域医療の担い手として県内の希望する施設で就業が可能である。

### 指導医から麻酔科専攻医希望者へのメッセージ

本プログラムでは、麻酔科の基本から応用まで幅広く習得ができる様に、当院、広島大学病院、東京女子医科大学病院、千葉こども病院、宇部中央病院、県立広島病院、広島市立北部医療センター安佐市民病院、JA広島総合病院、JA尾道総合病院をローテーションします。研修先の各病院では、ほぼすべての麻酔をカバーし、経験症例のミニマムはもちろん心臓血管麻酔、小児麻酔、集中治療をはじめ、末梢神経ブロックについても本格的な研修が可能です。初年度に当院での研修を配置して、麻酔の基本から応用までを、マンツーマンでみっちり伝授します。将来、デキる麻酔科医になりたい方、ぜひ、ご応募ください。

麻酔科科長 讃岐 美智義

### 【連携施設 A】

広島大学病院（広島市南区）  
東京女子医科大学病院（東京都）  
県立広島病院（広島市南区）  
広島市立北部医療センター安佐市民病院（広島市南区）  
JA 広島総合病院（廿日市市）  
JA 尾道総合病院（尾道市）  
宇部中央病院（山口県）

### 【連携施設 B】

千葉県こども病院（千葉県）

# 病 理

## 広島大学病理専門研修プログラム

**基幹施設** : 広島大学病院  
**住所** : 広島市南区霞 1 - 2 - 3  
**担当** : 病理診断科 教授 有廣 光司  
**TEL** : 082-257-5590  
**mail** : arihiro@hiroshima-u.ac.jp  
**URL** : <https://mkensyu.hiroshima-u.ac.jp/senmonkensyu/>  
**募集定員** : 5 名

### プログラムの特徴

本プログラムでは、連携施設群は広島市内では15分以内、近郊あるいは隣接市では30分前後の範囲に位置し、互いにコンパクトな位置関係にあり高い利便性が特徴の一つです。全臓器の疾患と移植医療に関する検体を日常的に扱い、general pathologyを十分習得して、どの分野でもレベルの高い能力を身につけた病理専門医と細胞診専門医になれます。更にsubspecialtyとして研究対象における専門性を目指せることも魅力です。

### 指導医から病理専攻医希望者へのメッセージ

病理診断学のみならず、医療全体が大きく変化しようとしていることを実感します。それは人工知能が様々な分野で取り入れられ、デジタル技術の進歩と相まって益々便利で無駄無く迅速に医療が行える環境が現れようとしているからです。さらに、本学はがんゲノム医療拠点病院に指定され、中四国のがんゲノム医療を推進する重責を担います。このような時代こそ『本物の』病理医が必要です。その一端としては、臨床や病理に関する知識のみならず、患者や他の医療者との円滑な関係性において医療全体を進めて行ける協働性であり、身近な問題から医療全体にまで及ぶかもしれない難問まで常に問題意識を持ち、解決しようとする研究力や突破力でしょう。本プログラムはAIやデジタル病理など現代の病理において重要になるツールに触れつつ、人体病理の基本の基も押さえようという欲張りな内容です。是非私たちの仲間になってください。

病理診断科 教授 有廣 光司

### 当該プログラム専攻医から病理専攻医希望者へのメッセージ

広島大学病理専攻プログラム1年目の林原と申します。本プログラムの大きな特徴は、多彩な症例を経験できることと、診断と研究を行き来しながら学べる環境にあると思います。大学病院という特性上、経験できる症例は多岐に渡ります。希少例を経験できる一方、診断困難な症例にあたることも少なくありませんが、先輩方の過去の診断や豊富な資料を参考にでき、各科の先生方とのカンファレンスで学びを深めることができるのも本プログラムの魅力であると言えます。また診断と研究を並行して行うことで、双方で得られた知見を互いに還元させることも自らの成長につながると感じています。

以上が私が感じる本プログラムの魅力です。興味がある方はぜひ見学に来てみてください。

卒後3年専攻医 林原 弘季

#### 【連携施設 1 群】

呉医療センター・中国がんセンター（呉市）  
 広島市民病院（広島市中区）  
 広島赤十字・原爆病院（広島市中区）  
 県立広島病院（広島市南区）

#### 【連携施設 2 群】

呉共済病院（呉市）  
 東広島医療センター（東広島市）  
 県立二葉の里病院（広島市東区）  
 広島市立北部医療センター安佐市民病院（広島市安佐北区）  
 JA 尾道総合病院（尾道市）

広島西医療センター（大竹市）  
 中国労災病院（呉市）  
 JA 広島総合病院（廿日市市）

#### 【連携施設 3 群】

土谷総合病院（広島市中区）  
 市立三次中央病院（三次市）  
 済生会広島病院（坂町）  
 庄原赤十字病院（庄原市）  
 柳井医療センター（山口県）  
 広島記念病院（広島市中区）  
 中電病院（広島市中区）

吉島病院（広島市中区）  
呉市医師会病院（呉市）  
広島共立病院（広島市安佐南区）  
マツダ病院（府中町）

JA 吉田総合病院（安芸高田市）  
福島生協病院（広島市西区）  
神戸大学医学部附属病院（兵庫県）

# 臨床検査

## 広島大学病院臨床検査専門研修プログラム

**基幹施設** : 広島大学病院  
**住所** : 広島市南区霞 1 - 2 - 3  
**担当** : 検査部 部長・准教授 茂久田 翔  
**TEL** : 082-257-1577  
**mail** : sho-mokuda@hiroshima-u.ac.jp  
**URL** : <https://mkensyu.hiroshima-u.ac.jp/senmonkensyu/>  
**募集定員** : 1 名

### プログラムの特徴

本研修は、現在はカリキュラム制のみを採用しており、広島大学病院において研修が行われる。希望に応じて広島市民病院、呉医療センターでの研修も相談する。広島大学病院は地域の最重点基幹病院であるとともに県内で最初にISO15189認定を取得した医療施設として臨床検査一般について幅広くかつ国際標準に沿った検査を研修できる。また、多くの臨床研究の題材を有するためリサーチマインドを持った臨床検査医を目指すことができる。

### 指導医から臨床検査専攻医希望者へのメッセージ

臨床検査医学は医療のインフラを守る重要な役割をしています。  
 また、臨床検査技師が条件に充足する人数が勤務している病院において、専属で臨床検査に従事する医師が同時に勤務している場合、診療報酬上の収益につながる場合があります（検体検査管理加算【4】）。現在、広島県には臨床検査専門医の有資格者が少なく、今後の需要が期待されます。臨床検査医学に興味のある方はどうぞ声をかけてください。  
 <注意点など> 年間定員数は1枠のみで運用を行っております。昨今、問い合わせが増加しております。ご希望に添えない場合はご容赦いただけますと幸いです。

部長 茂久田 翔

### 【連携施設】

広島市民病院（広島市中区）  
 呉医療センター・中国がんセンター（呉市）

# 救急科

## 広島大学病院救急科専門研修プログラム

**基幹施設** : 広島大学病院  
**住所** : 広島市南区霞 1 - 2 - 3  
**担当** : 高度救命救急センター 講師 太田 浩平  
**TEL** : 082-257-5456  
**mail** : kota@hiroshima-u.ac.jp  
**URL** : <https://mkensyu.hiroshima-u.ac.jp/senmonkensyu/>  
**募集定員** : 6名

### プログラムの特徴

高度救命救急センターでの救急患者と院内重症患者の初期診療と集中治療を中心に、県内や京滋、岡山、島根、福岡と多くの連携施設で、救急医の理想像を見つけられるプログラムです。小児やECMOも豊富で、外傷四肢再建学講座との協働、ドクターヘリでの病院前診療、DMATや被ばく医療などの災害医学、など広く知識や技術を習得できます。院内勉強会の機会も多く、学会参加もサポートします。女性医師も多数在籍しています。

### 指導医から救急科専攻医希望者へのメッセージ

「適切な患者に、最適な治療を、最短で」。救急医学および集中治療医学は、内因性疾患だけでなく外傷や中毒、熱傷、また妊婦や小児と、重症患者の初期診療から集中治療までを網羅します。また、病院診療にとどまらず、ドクターヘリや災害医療、あらゆる場面での医療も経験できます。重症患者の救命から社会復帰には、適切なタイミングで過不足ない治療を他職種や診療科と協働し提供しなければならず、救命救急センターは我々の専門性を遺憾なく発揮できる場です。自分が医師になってから救急科が、集中治療科が、標榜診療科として認められました。先達から続く歩みが道となり、その道を未踏の地に伸ばすべく、新しい発見に興奮しながら日々の診療を楽しんでいます。救急科とは？集中治療科とは？ひとつの答えがここにあります。一緒に道を作りましょう！

講師 太田 浩平

### 当該プログラム専攻医から救急科専攻医希望者へのメッセージ

当科では重症患者の初期対応から集中治療、その後の病棟管理まで急性期の全てのフェーズを担当します。専攻医は主にチームの一員として患者を対応しますが、上級医のバックアップ下で主体性を持って診療することができます。また県内から小児重症患者を多く受け入れておりPICU経験豊富な上級医のもとで小児の経験も積むことができます。その他にも教授とのベッドサイドディスカッションや若手勉強会を通して、専攻医に必要な知識だけでなく教科書には載っていない最新の知見も学べます。また若手から上級医に相談しやすく、医師だけでなく他職種含めたONE TEAMで患者を良くしようとする雰囲気も当科の強みかもしれません。一度見学にきていただけたらその空気、そして魅力を肌で感じていただけたらと思いますので、ぜひ見学にお越しください。

卒後7年専攻医 波多間 浩輔

当科のプログラムの特徴は、個人の目標に応じてフレキシブルな研修ができる点です。救急・集中治療分野は救急外来診療から入院病棟での急性期管理まで幅広く対応する必要があり、敗血症や外傷など扱う疾患も多様です。県内外に連携施設が多く、診療の強みの異なる病院で勤務することで、着実に力をつけていくことができると思います。私は広島大学病院で勤務後、外傷診療に重点を置く京都府の病院で研修を行いました。

また、当科は女性医師も多いですが、育児休暇を取得する男性医師も多く、男女ともに働きやすい環境であると思います。重症度の高い患者さんの治療は決して楽ではありませんが、オンオフが明白なため仕事もプライベートも充実した生活を送ることができます。

救急・集中治療に興味のある方はぜひ一度ご見学にお越しください。

卒後8年専攻医 山本 真紀

**【連携施設】**

県立広島病院（広島市南区）  
広島市民病院（広島市中区）  
JA 広島総合病院（廿日市市）  
広島赤十字・原爆病院（広島市中区）  
呉医療センター・中国がんセンター（呉市）  
広島市立北部医療センター安佐市民病院（広島市安佐北区）  
中国労災病院（呉市）  
JA 尾道総合病院（尾道市）  
マツダ病院（府中町）  
市立三次中央病院（三次市）  
京都医療センター（京都府）  
京都第二赤十字病院（京都府）  
倉敷中央病院（岡山県）  
長浜赤十字病院（滋賀県）  
京都第一赤十字病院（京都府）  
島根県立中央病院（島根県）  
京都府立医科大学病院（京都府）  
産業医科大学病院（福岡県）  
北九州市立八幡病院（福岡県）  
洛和会 音羽病院（京都府）  
一宮西病院（愛知県）  
前橋赤十字病院（群馬県）  
福岡徳洲会病院（福岡県）  
聖マリアンナ医科大学病院（神奈川県）

## 県立広島病院救急科専門研修プログラム

**基幹施設** : 県立広島病院  
**住所** : 広島市南区宇品神田1-5-54  
**担当** : 事務局 総務課 参事 瀬尾 浩昭  
**TEL** : 082-254-1818 (代表) (内線 4262)  
**mail** : hphsoumu@hpho.jp  
**URL** : <https://hiroshima.hpho.jp/rinsho/senkoi/>  
**募集定員** : 3名

### プログラムの特徴

救急医はジェネラリストでなければならない。軽症から重症まで、子供から大人まで、内因性から外因性まで、病院前（ドクターヘリ・カー）から救急外来、ICU、一般病棟まで。救急医に求められる知識やスキルは多種多様である。限られた病院、限られた地域のみでの研修では、良医にはなれない。「この患者は私が診る患者ではない」は禁句である。全ての困った患者に手を差し伸べられるようになりたい、ジェネラリストを目指す君に、多くの選択肢を用意している。

### 指導医から救急科専攻医希望者へのメッセージ

救急医療は医の原点である。当院では地域のあらゆる重症度の救急患者を常時受け入れると同時に、ドクターカー、ドクターヘリなどの病院前救急診療にも力を注いでいる。当院での研修を通して、救急医になるための多様な診療経験、判断力・決断力、そしてリーダーシップを修得することができる。当院の救急科には様々なバックグラウンドの指導医が在籍しており、全国の連携施設での研修と併せ、希望に応じてダブルボードの取得、サブスペシャリティの修練にも柔軟な対応ができる。救急科専門医取得後に別の科へ転向する人も応援しているし、その逆も大歓迎。ぜひ自分の「やりたい」を見つけてほしい。

我々の思いは、個として、どんな患者にも臆さない医師になってほしい、何科に行っても重症化した患者を診られる素質を養ってほしい、頼ってくる患者を拒まない包容力のある医師になってほしい。チームとして、診療の質を高め合えるチームを作りたい、ひとりひとりの家庭や生活環境・ライフワークを尊重し合えるチームを作りたい、そして、患者として、ここがベストと思われるチームを作りたい。

人を救うには、まずは自分が健康でなければならない。そうでないと、判断を誤る、スタッフが迷う、家族が心配する、自分を責める。高齢化は進み、医師は足りない。だからこそ救急医が健康であること、これは義務である。

我々は、一緒に救急医療という社会貢献をする人を常に待っている。

救急科主任部長 世良 俊樹

### 当該プログラム専攻医から救急科専攻医希望者へのメッセージ

当院の救命救急センターは3次救急診療をはじめ、主に院内外の重症患者を中心に診療を行っています。救急隊による搬送のみならず、ドクターカーやドクターヘリ、消防によるピックアップなども利用して早期接触・早期介入することで早期離床・社会復帰を目指しています。内因性疾患や多発・重症外傷の診療も各診療科と協力して行っており、様々な症例を経験することができます。救急外来、外傷診療、院内急変、集中治療、災害医療など救急科の後期研修として経験すべきものは一通り経験することができます。Off the job trainingへもシフトワークのおかげで積極的に参加することができます。プログラム連携施設も県内外問わず充実しており、自分の興味のある分野をさらに伸ばすことができます。是非一度、当院に見学に来てください。

卒後5年専攻医 山手 敦史

#### 【連携施設】

広島大学病院（広島市南区）  
 中国労災病院（呉市）  
 マツダ病院（府中町）  
 広島市立北部医療センター安佐市民病院（広島市安佐北区）

JA 広島総合病院（廿日市市）  
 広島市民病院（広島市中区）  
 神戸市立医療センター中央市民病院（兵庫県）  
 公立豊岡病院組合立豊岡病院（兵庫県）  
 北九州総合病院（福岡県）

救急科

獨協医科大学埼玉医療センター（埼玉県）  
愛媛大学医学部附属病院（愛媛県）  
東京ベイ・浦安市川医療センター（千葉県）  
大阪公立大学医学部附属病院（大阪府）

島根大学医学部附属病院（島根県）  
聖路加国際病院（東京都）  
東京医科歯科大学病院（東京都）  
京都第二赤十字病院（京都府）

## 広島市立広島市民病院救急科研修プログラム

**基幹施設** : 地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立広島市民病院  
**住所** : 広島市中区基町7-33  
**担当** : 事務室総務課人事係(研修管理委員会) 小松・石津・長谷川・児玉  
**TEL** : 082-221-2291 PHS 6123  
**mail** : hiro-kensyu@hcho.jp  
**URL** : <https://www.city-hosp.naka.hiroshima.jp/>  
**募集定員** : 2名

### プログラムの特徴

将来ERフィジシャンになることを目標とする研修プログラムです。救急医療の構成要素である救急外来診療・救命センター病棟管理・災害医療・プレホスピタルケア全般を3年間で習得します。ER診療は当院で、救命医療は高度救命救急センターである岡山大学病院・広島大学病院・兵庫県災害医療センター等の内から選択し研修します。地域医療研修のため6ヶ月間、北部医療センター安佐市民病院または友愛医療センター(沖縄県)等で研修します。

### 指導医から救急科専攻医希望者へのメッセージ

ER診療は医療的な知識はもちろんのこと、医療を取り巻く社会情勢・社会問題、人の生き方に関する深い理解が必要とされます。単に知識・技術を習得するだけでなく、マネージメント能力、コミュニケーション能力、教育力を高めることを学びますが、最も大切なことが人間性を鍛え上げる事です。救命センターでは主治医として重症患者治療を行う事が出来ます。研修終了はゴールでなくスタートです。死ぬまで学び続ける意欲が必要です。そんな人を求めています。

救急科主任部長 内藤 博司

### 当該プログラム専攻医から救急科専攻医希望者へのメッセージ

私は初期研修終了後、当院でER研修をスタートし、兵庫県災害医療センター、安佐市民病院にて研修し3年間のプログラムを終了しました。現在広島市民病救急科にてスタッフとして働いています。広島市民病院ERは広島で最も多くの患者を受け入れており、経験できる症例数は中四国有数です。研修開始当初はその患者数に圧倒される日々でしたが、優しい指導医や看護師の方々に助けられながら日々楽しく診療しております。軽症患者から重症患者まで幅広く診療に当たるのが当院の研修の特徴で、日々新しいことを勉強するにはもってこいの環境です。学会発表や論文にも積極的に取り組ませていただいています。プログラムによる研修で、ER、救命センターにおける重症管理、災害医療、ICLS等オフザジョブトレーニングなど救急に関するすべてを学ぶことが可能です。そんな素敵な広島市民病院救急科で救急科の研修を始めましょう。

専攻医

#### 【連携施設】

広島大学病院(広島市南区)  
 岡山大学病院(岡山県)  
 兵庫県災害医療センター(兵庫県)  
 神戸市立医療センター中央市民病院(兵庫県)  
 県立広島病院(広島市南区)  
 松江赤十字病院(島根県)  
 TMG あさか医療センター(埼玉県)

防衛医科大学校病院(埼玉県)  
 湘南鎌倉総合病院(神奈川県)  
 香川大学医学部附属病院(香川県)  
 飯塚病院(福岡県)

#### 【関連施設】

広島市立北部医療センター安佐市民病院(広島市安佐北区)  
 福井県立病院(福井県)  
 友愛医療センター(沖縄県)

## 北部医療センター安佐市民病院救急科専門研修プログラム

**基幹施設** : 地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立北部医療センター 安佐市民病院  
**住所** : 広島市安佐北区亀山南一丁目2-1  
**担当** : 事務室 総務課 人事係 豊田 麻里  
**TEL** : 082-815-5211 (代表)  
**mail** : toyota-m@hcho.jp  
**URL** : <https://www.asa-hosp.city.hiroshima.jp/medical-personnel/careers/residents/late/>  
**募集定員** : 2名

### プログラムの特徴

当院は広島市北部から県北、島根県南部までをカバーする救命救急センターとして、幅広い救急患者に対応しています。主は救急外来でのER診療を主体となっており、また総合診療科を含む各専門診療科と柔軟に連携をし、重症患者を含む入院患者の診療を行うことで、救急科専門医としての必要な診療能力を育むことができます。連携施設では集中治療室や病院前（ドクターヘリ）などの研修を行うことが可能です。

### 指導医から救急科専攻医希望者へのメッセージ

昨今の救急科医師は、様々な場面での活動が求められます。救急外来、集中治療室だけでなく、ドクターヘリ・病院前診療、災害時現場派遣、Rapid Response System/Medical Emergency Teamでの重症部門以外での医療安全活動など、挙げればきりがありません。これら多彩な分野を前にすると茫然としてしまいますが、それらをまずは浅く広く学んだ後に、特に自分が極めたいと思った分野に習熟することは可能です。そして、それを可能にする大前提として、軽症から重症まで、若年から老年まで、内因・外因に関わらず救急患者さんに対応できる能力を身につけることが基本的ではあるけれどもとても重要です。私たちの病院は広島市街地の北端にあり、広島市・広島県北部・島根県西部の広域から救急車やドクターヘリによって様々な救急症例が搬送される病院です。ここで研修することで、救急科医師としての人生の「礎」となるような貴重な時間を過ごしてもらいたいと思います。

救急科 部長 救急専門研修プログラム責任者 鈴木 慶

### 【連携施設】

広島大学病院（広島市南区）  
県立広島病院（広島市南区）  
広島市民病院（広島市中区）

## 広島総合病院救急科専門研修プログラム

**基幹施設** : 広島県厚生農業協同組合連合会 広島総合病院  
**住所** : 廿日市市地御前1丁目3-3  
**担当** : 人事課 藤田 慎介  
**TEL** : 0829-36-3111  
**mail** : hiro.kensyu@hirokouren.or.jp  
**URL** : https://hirobyo.jp/  
**募集定員** : 3名

### プログラムの特徴

広島市内の病院群は、救急においても機能分化が進んでおり、症例が偏りがちです。当院は地域で唯一の地域救命救急センターですので、二次～三次救急患者が満遍なく集まります。二次～三次の救急医、集中治療医、病棟総合医としての能力を養うことができます。今後は一次救急にも力を注いでいきたいと思っており、救急医としていろんな症例を幅広く経験することが可能です。

### 指導医から救急科専攻医希望者へのメッセージ

2025年には団魂の世代が後期高齢者となり、社会保障費はますます国の財政を圧迫しています。厚生労働省は地域完結型の医療を実現すべく、地域医療構想を掲げています。高度急性期病床は大幅に削られ、回復期や在宅医療の需要が増加します。

一方、高齢者が増えれば当然、救急患者も増加します。患者を中核病院に集めるのか、様々な病院に分散させるのか、病院ごとの機能分化など、どのような救急医療体制を目指すかは地域によって特色が生まれるでしょう。そうすると、地域や施設によって、救急医へのニーズは多様化する可能性があります。

当院は地域で唯一の急性期病院ですので、多種多様な役割が求められます。軽症から重症まで診れる急性期ジェネラリストの育成を心がけております。ぜひ、一緒に広島西部地区の地域医療を支えていきましょう！！

救急集中治療科主任部長（集中治療部） 櫻谷 正明

### 当該プログラム専攻医から救急科専攻医希望者へのメッセージ

当院は廿日市市だけではなく、広島西医療圏の救急医療を担っている病院です。救急・集中治療科では3次までの救急対応と、ICU・HCUに入院する重症患者管理、一般病棟に入院している診断のつかない患者やマルチプロブレムを有する患者管理も行っております。初療だけではなく入院後の患者を管理することによって、初療から患者のdispositionを考えた診療、すなわち患者の病態だけではなく生活背景まで見据えた診療を行うことが可能です。

今後の社会に適応した、幅広い事態に対応できるジェネラルな救急医になることができると考えています。当院の救急医療と一緒に支えてくださり、ともに成長できる専攻医を募集中です！

卒後6年 千々和 可怜

### 【連携施設】

広島大学病院（広島市南区）  
 倉敷中央病院（岡山県）  
 福井県立病院（福井県）  
 名古屋掖済会病院（愛知県）  
 島根県立中央病院（島根県）  
 奈良県総合医療センター（奈良県）  
 県立広島病院（広島市南区）

### 【関連施設】

広島市立舟入市民病院（広島市中区）  
 市立三次中央病院（三次市）

## 呉医療センター・中国がんセンター救急科専門研修プログラム

基幹施設 : 国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター  
住所 : 呉市青山町3-1  
担当 : 救命救急センター部長 岩崎 泰昌  
TEL : 0823-22-3111 (代表)  
mail : iwasaki.yasumasa.rs@mail.hosp.go.jp  
URL : <https://kure.hosp.go.jp/rinshou/kouki.html>  
募集定員 : 2名

### プログラムの特徴

当院のプログラムは「内科系から外科系まであらゆる急性期疾患に対応できる救急医」を育成することを目標としています。3次救急のみでなく、2次救急患者やWalk-Inで来院する初期救急患者の診療にも携わることにより、幅広い知識と技術を習得でき、救急医、総合診療医、集中治療医としての能力を身に付けるプログラムです。また、救急医療の社会医学的側面から、災害医療や病院前救急にも力を入れており、連携施設ではドクターヘリなどの研修を行うことも可能です。

### 指導医から整形外科専攻医希望者へのメッセージ

指導医「救急科は何を診る診療科なのか」私は30年以上救急医をしてきましたが、この答えは未だに正確にはわかりません。おそらく、地域や施設によっても救急医へのニーズは異なっていると思われます。しかし、「重症の患者では、救急医が関与しなければ助からない命があるということと、その多くは救急医だけがいても命は助からないということ」これだけは確かであり、私の経験から自信を持って言うことができます。救急医、集中治療医は専門診療科領域の凹凸の分を補い、すべての臓器、組織がつながりをもっているひとりの患者の体を、全体として診ることができる幅の広い知識と技術が必要です。「これは私の専門ではない」と置き去りにされる医療を無くして、すべての医療者が力を合わせて救命する喜びを、このプログラムを通して学んでいただければと思います。

救命救急センター 部長 岩崎 泰昌

### 【連携施設】

広島大学病院 (広島市南区)  
県立広島病院 (広島市南区)  
北部医療センター安佐市民病院 (広島市安佐北区)  
国立病院機構熊本医療センター (熊本県)

## 備後の地で地域に根ざした救急診療を学ぶプログラム

**基幹施設** : 福山市民病院  
**住所** : 福山市蔵王町五丁目23番1号  
**担当** : 経営企画部 病院総務課 松本 友哉  
**TEL** : 084-941-5151  
**mail** : shimin-byouin@city.fukuyama.hiroshima.jp  
**URL** : https://www.fc-hosp.jp/  
**募集定員** : 2名

### プログラムの特徴

当院は広島県東部に位置する唯一の救命救急センターです。そのため院外心肺停止、重症多発外傷、重症熱傷、急性中毒、重症敗血症等、様々な重症患者の診療を行っています。その様な重症患者の初療からその後の集中治療まで、自信と責任を持って行える医師を育成することが本プログラムの目標です。研修期間中の病院連携に関しては備後地区、中国四国地区の大学や各地の救急医療の仲間たちと連携して、ドクターヘリやドクターカーなどを含めた国内研修を行います。

### 指導医から救急科専攻医希望者へのメッセージ

救急科を目指す君へ ～ 救急医療というよくわからないと思います。必要と思うけど何をやるの？そう考えるのは無理ないと思います。しかし、重篤な病態の典型例が多発外傷です。そんな時、脳外科が先？整形が先？外科が先？大体ショックだし全身麻酔ができるの？こんな混乱が起きます。我々救急科は初期蘇生・治療を行い、限られた時間で治療戦略の決定を行います。つまり各科を有機的に統合する横糸であり、各科は縦糸です。深く専門性を追求して深く掘り下げていく医師を“I”字型の医師といいます。広く総合的な知識を持ち、他科の診療も理解しながら専門性を追求する医師を“T”字型医師といいます。救急科はこの“T”字型医師です。限られた時間内に治療戦略を決定し、患者を救命する。全身管理のエキスパート、蘇生のエキスパートで、各科へのコマンドーとして治療を牽引していくのが仕事です。だからこそ今、最も必要な医師です。救急科で自分の能力を発揮して、地域の人々を救ってください。君なら必ず患者を救える！

救命救急センター 副センター長 柏谷 信博

### 当該プログラム専攻医から救急科専攻医希望者へのメッセージ

当院は広島県東部唯一の救命救急センターで、年間4000台の救急搬送があります。救急科は主に、その中でも重症な約800件の三次救急症例の初期対応や入院管理に携わっています。私は卒後5年目の専攻医ですが、主治医あるいはリーダーとして、心肺停止を始めとする重症患者様の初期対応、多発外傷、重症敗血症、広範囲熱傷などの幅広い分野の患者様の入院治療の経験を積ませて頂いています。

その中で、ベテランの上級医の先生と比べるとまだまだですが、知識や技術、そして重症患者様を前にしても慌てないメンタルが少しずつ身についていると感じています。

当直は上級医と二人体制なので、安心して経験を積むことが出来ます。是非一度見学に来ていただいて、救急のリアルな現場を体感してください。お待ちしております！

卒後5年専攻医 前田 徳也

### 【連携施設】

山口大学医学部附属病院（山口県）  
 岡山大学病院（岡山県）  
 高知医療センター（高知県）  
 山形大学医学部附属病院（山形県）

島根県立中央病院（島根県）  
 府中市民病院（府中市）

### 【関連施設】

JA 尾道総合病院（尾道市）  
 日本鋼管福山病院（福山市）

# 形成外科

## 広島大学病院形成外科専門研修プログラム

**基幹施設** : 広島大学病院  
**住所** : 広島市南区霞 1 - 2 - 3  
**担当** : 形成外科 診療講師 永松 将吾  
**TEL** : 082-257-5187  
**mail** : keisei@hiroshima-u.ac.jp  
**URL** : <https://mkensyu.hiroshima-u.ac.jp/senmonkensyu/>  
**募集定員** : 3名

### プログラムの特徴

当プログラムは広島大学病院を中心にさまざまな規模の総合病院・個人病院と連携体制を取っており、全て広島県内の施設で研修を完結出来るのが特徴です。大学病院や総合病院では、手術用顕微鏡下の血管吻合を駆使した遊離組織移植や乳房再建など、再建手術を要するチーム医療や珍しい疾患を経験します。一方、外勤を通じて県内他施設での形成外科診療を担います。また症例豊富な個人病院では形成外科領域のcommon diseaseへの対応を習得し、顎顔面外科や美容外科領域の経験も積むことが可能です。

### 指導医から形成外科専攻医希望者へのメッセージ

広島県は形成外科医の数が全国平均を大きく下回り、ワースト5位に入るほどで認知度や普及が遅れているのが現状です。一方で形成外科のニーズは確実に高まっています。形成外科がすでに飽和状態の他県と異なり、広島県では将来的に成長が期待できる分野です。当プログラムでは、県内施設での研修を通して形成外科医としての経験値を高め、多様な働き方を実感する事が出来るでしょう。また、ご希望に応じて興味の出た分野に関して、県外の施設での研修も推奨しています。形成外科が普及することは、広島県全体の医療レベルの向上につながります。郷里である広島県の将来のため、熱意と好奇心、向上心を持って形成外科に取り組んで下さる皆さんの参加をお待ちしております。

診療講師 永松 将吾

### 当該プログラム専攻医から形成外科専攻医希望者へのメッセージ

みなさんは医師国家試験における形成外科の出題数をご存じでしょうか？答えは0問です（第117回医師国家試験）。形成外科は大学での講義回数も少なく、学生や研修医の皆さんにとって馴染みのない分野でしょう。私も研修先の病院で形成外科に関わるまで詳しく知りませんでした。しかし形成外科は体表面の疾患に広く関わり、扱う疾患は頭のとっぺんから足の先まで、皮膚裂創や顔面骨折、腫瘍や先天性疾患、美容医療等々多岐に渡ります。癌の再建等を通じて他科との連携も多く、実臨床で幅広く活動しております。その分多くの疾患に対応する場面が多いですが、当医局は和やかな雰囲気、学年関係なく相談しやすい雰囲気があります。ご興味があれば是非一度見学にいらっしやして下さい。いつでもお待ちしております。

卒後9年 河本 遥

### 【連携施設】

公立世羅中央病院（世羅町）  
 宮本形成外科（広島市南区）  
 JA 広島総合病院（廿日市市）  
 県立広島病院（広島市南区）  
 呉共済病院（呉市）  
 岡山形成外科（広島市中区）  
 広島西医療センター（大竹市）

## 広島市立広島市民病院形成外科専門研修プログラム

**基幹施設** : 地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立広島市民病院  
**住所** : 広島市中区基町7-33  
**担当** : 事務室総務課人事係(研修管理委員会) 小松・石津・長谷川・児玉  
**TEL** : 082-221-2291  
**mail** : hiro-kensyu@hcho.jp  
**URL** : <https://www.city-hosp.naka.hiroshima.jp/>  
**募集定員** : 2名

### プログラムの特徴

広島市民病院形成外科を基幹病院として、島根県立中央病院形成外科、倉敷中央病院形成外科、京都大学医学部附属病院形成外科と連携したプログラムです。

当院は年間の手術件数約1,800件、うち全麻手術は600件を超え、唇顎口蓋裂をはじめとした小児先天異常、乳腺外科や耳鼻科の再建手術、眼瞼下垂、顔面骨折など多くの症例を経験出来ます。連携施設も充実しており、切断肢再接着などの手の外科・マイクロサージャリーについては島根県立中央病院で、四肢切断や潰瘍は倉敷中央病院で修練することが可能で、中国地方圏内で研修を完結させることも可能です。診療所の連携施設である心石形成外科では、レーザー治療やコモンな皮膚外科治療を経験することができます。アカデミックな教育や研究に興味があれば京都大学病院での研修もでき、希望とやる気に応じたプログラムを組むことができます。

### 指導医から形成外科専攻医希望者へのメッセージ

当院では、多くの場合大学病院にしか集まらないような小児先天異常の手術が全国トップレベルである一方、再建やその他の手術も数多く行っています。そのため大学病院に集まるような珍しい疾患の勉強と、一般市中病院でのような若手が率先して執刀する症例との双方をバランス良く経験できるのが当院の特徴です。

症例数が多い分、形成外科としては忙しい部類に入る病院ですが、たくさんの経験をしたいやる気のある若い先生にはうってつけの病院だと思います。是非来てください。

形成外科主任部長 木村 得尚

### 【連携施設】

京都大学医学部附属病院(京都府)  
島根県立中央病院(島根県)  
倉敷中央病院(岡山県)  
心石形成外科(広島市中区)

# リハビリテーション科

## 広島大学病院リハビリテーション科専門研修プログラム

**基幹施設** : 広島大学病院  
**住所** : 広島市南区霞 1 - 2 - 3  
**担当** : リハビリテーション科 教授 三上 幸夫  
**TEL** : 082-257-5566  
**mail** : mikamiy@hiroshima-u.ac.jp  
**URL** : <https://mkensyu.hiroshima-u.ac.jp/senmonkensyu/>  
**募集定員** : 10 名

### プログラムの特徴

日本は世界で最も高齢化が進み、病気の治療だけでなく、生活の維持・改善や社会参加も求められます。19専門領域の中でリハビリテーション科は唯一生活を評価して改善できるので、高齢化社会の解決策と期待されています。当プログラムでは、急性期病院だけでなく、回復期リハ病院や地域包括ケア病院、在宅医療を経験し、介護保険や行政にも関わります。生活を診るため広島の各地を周るため、地域枠の方も大歓迎です。

### 指導医からリハビリテーション科専攻医希望者へのメッセージ

高齢化社会を乗り切るため病院機能の差別化が進行しています。今後、大学病院の様な急性期病院は減少し、その代り24時間365日運営されます。一方、自宅に戻るため生活の再構築と維持が求められ、回復期リハビリテーション病棟や地域包括ケア病棟は増加します。リハビリテーション医療は、医師だけでなく理学療法士や作業療法士、言語聴覚士など職種が介入しますが、人間とその生活を評価するために多面的な介入が必要なことを示しています。「生活を診る」ことは、病気の診断と治療と異なる特別な知識が必要です。リハビリテーション医は専門職の情報を統括し、目的を設定して調和を持って遂行させる指揮者の様な役割があります。患者だけでなく自らの生活の質も考慮しながら、高齢化社会を切り開くリハビリテーション医は、これからの社会に最も必要です。

教授 三上 幸夫

### 当該プログラム専攻医からリハビリテーション科専攻医希望者へのメッセージ

リハビリテーション科には、様々な疾患や障がいを抱えた方が来られます。そのため、生活背景も踏まえて、患者さんにとって最適な治療方針と支援体制を組み立てていく診療科になっています。急性期では他診療科で治療中の患者さんのリハビリテーション処方に携わり、多くの疾患の知識を得ることができます。回復期・生活期では主治医となって内科管理をする能力も身につきます。そのため、研修期間内に、リハビリテーション科の知識のみならず、多くの診療科の知識を得ることができます。教室自体も所属医局員の生活に理解があり、ライフプランに合わせた働き方が相談しやすく、女性医師にも非常に働きやすい環境になっております。是非、私たちと一緒に、障がいの有無に関わらず、患者さんが自分らしく生きていくための医療に携わっていきましょう。多くの先生方の見学も、お待ちしております。

専門医 木曾 紗也香

#### 【連携施設 A】

広島市立リハビリテーション病院（広島市安佐南区）

#### 【連携施設 B】

公立みつぎ総合病院（尾道市）

#### 【連携施設 C】

アマンリハビリテーション病院（広島市中区）

# 総合診療

## 広島大学病院総合診療専門研修プログラム

**基幹施設** : 広島大学病院  
**住所** : 広島市南区霞 1 - 2 - 3  
**担当** : 総合内科・総合診療科 助教 原武 大介  
**TEL** : 082-257-5555  
**mail** : okam5461@hiroshima-u.ac.jp  
**URL** : <https://mkensyu.hiroshima-u.ac.jp/senmonkensyu/>  
**募集定員** : 6名

### プログラムの特徴

当院の総合診療専門医研修プログラムは原則3年間で、3年間の間に、総合診療専門研修Ⅰ（診療所・小病院）とⅡ（総合内科）、内科、小児科（3ヶ月）、救急科（3ヶ月）の研修を行います。総合診療はカバーする領域が多岐にわたるため、専攻医の多様なニーズに合わせた、きめ細かいカリキュラムの設定が可能です。総合診療医として外来や病棟管理に必要な臨床能力や、医学教育、マネジメント方法などを学びます。まずは内科を全般的に広く学びその後専門研修を行いたい、将来的に開業をしたい、研究・留学をしたい、医学教育をしたい、開業前に研修したい、子育てをしながら研修をしたい方などぜひ当プログラムで研修していただければと思います。

### 指導医から総合診療専攻医希望者へのメッセージ

2018年より19番目の基本領域として新たに『総合診療専門医』ができました。われわれの研修プログラムでは、診療所や総合病院で必要とされる臨床推論能力や診療スキル（超音波検査、内視鏡検査、メンタルヘルス等）の取得を3年間の研修で目指します。総合診療専門医研修ではさまざまな疾患の診断や治療のみではなく、小児から高齢者のおける、複雑な患者問題解決のための手法である患者中心の医療や社会心理的なアプローチの理論、疾病予防のためのヘルスマネジメントなども学びます。また、全ての医師が身につけておくべき能力である、コミュニケーションや生涯学習、研究・教育といった分野も学ぶことができます。当研修プログラムでは専攻医一人ひとりにメンターをつけ、将来像を考慮したニーズにあわせた研修を行なっていますので、興味のある方は是非一度見学にきていただくか連絡をいただければと思います。

助教 原武 大介

### 当該プログラム専攻医から総合診療専攻医希望者へのメッセージ

広島大学病院の総合診療専門医研修プログラムは、diversity（多様性）を尊重し、家庭医、病院総合診療医、公衆衛生などさまざまなキャリアを応援してもらえる環境です。1人1人のキャリアに真摯に寄り添ってくれる、そんな雰囲気があります。また、大学病院のみでなく多数の市中病院でも経験を積むことができ、幅広い環境で医師として成長できると感じています。総合診療は新しく加わった領域であり、身近にロールモデルがない中では確かに選択しにくい分野だと思いますが、現在の複雑な世の中で、社会の医療に対するニーズが多様化している現状では、総合診療医にしかできないことがあると、研修がすすむほどに実感しています。ぜひ私たちと一緒に働きましょう。

卒後5年後期専攻医 榎 雄太郎

### 【連携施設】

広島市立北部医療センター安佐市民病院（広島市安佐北区）  
 庄原赤十字病院（庄原市）  
 県立広島病院（広島市南区）  
 広島西医療センター（大竹市）  
 吉島病院（広島市中区）  
 広島市立舟入市民病院（広島市中区）  
 青崎いぶきクリニック（広島市南区）  
 一陽会 原田病院（広島市佐伯区）  
 アマノリハビリテーション病院（廿日市市）

安芸太田病院（安芸太田町）  
 庄原市立西城市民病院（庄原市）  
 広島市立広島市民病院（広島市中区）  
 シムラ病院（広島市中区）  
 JA 広島総合病院（廿日市市）  
 広島共立病院（広島市安佐南区）  
 はしもと内科（広島市中区）  
 ほーむけあクリニック（広島市中区）  
 呉共済病院（呉市）  
 高橋内科小児科医院（広島市安佐南区）

瀬尾医院（世羅町）  
広島赤十字・原爆病院（広島市中区）

濟生会広島病院（広島市坂町）  
雄鹿原診療所（北広島町）

## 県立広島病院総合診療専門研修プログラム

**基幹施設** : 県立広島病院  
**住所** : 広島市南区宇品神田 1 - 5 - 5 4  
**担当** : 事務局 総務課 参事 瀬尾 浩昭  
**TEL** : 082-254-1818 (代表) (内線 4262)  
**mail** : hphsoumu@hpho.jp  
**URL** : <https://hiroshima.hpho.jp/rinsho/senkoi/>  
**募集定員** : 3名

### プログラムの特徴

“ことわらない救急”をもとに年間7000台を超える救急車搬送を受けており、幅広く、様々な疾患を経験することができます。さらに感染症学会指導医3名が在籍し、グラム染色による起因菌の推定・抗菌薬の適切な選択・治療を習得することができます。令和8年度からは沖縄県立南部医療センター・こども医療センターでの研修も可能となっており、県外での地域医療を経験することも出来る非常に魅力的なプログラムです。

### 指導医から総合診療専攻医希望者へのメッセージ

2030年4月、広島駅北に診療科41科を備える大規模な新県立広島病院が誕生します。“ことわらない救急”という壮大な目標にむけて、ハイブリッドERを整備し、年間12,000件の救急搬送を想定していますが、まだまだその受け入れを可能とする医師数が足りていません。若い活気あふれる、そして多くの症例を経験して患者さんの健康に貢献出来るようになりたいと考えている医師の皆さんと広島の医療を支えたいと強く願っております。若い研修医の先生も徐々に増えてきております。県立広島病院で一緒に働きませんか？

総合診療科・感染症科部長 岡本 健志

### 【連携施設】

県立安芸津病院 (東広島市)  
安芸太田病院 (安芸太田町)  
北広島町雄鹿原診療所 (北広島町)  
庄原赤十字病院 (庄原市)  
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター (沖縄県)

### 【特別連携施設】

公立みつぎ総合病院 (尾道市)  
神石高原町立病院 (神石高原町)

## 広島風お好み総合診療専門研修プログラム

**基幹施設** : 地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立広島市民病院  
**住所** : 広島市中区基町7-33  
**担当** : 事務局総務課人事係（研修管理委員会） 小松・石津・長谷川・児玉  
**TEL** : 082-221-2291  
**mail** : hiro-kensyu@hcho.jp  
**URL** : <https://www.city-hosp.naka.hiroshima.jp/>  
**募集定員** : 2名

### プログラムの特徴

当院初の総合診療専門研修プログラムです。「お好み」の名の通り、一人一人の医師のライフプランにあったキャリア形成に寄り添えるプログラムを目指しています。具体的には、総合診療専門医のみならず、内科専門医とのダブルボード取得（計4年間）や家庭医療専門医（日本プライマリ・ケア連合学会）、内視鏡専門医や糖尿病専門医、透析専門医の取得も可能です。感染症専門医フェローシップの立ち上げも企画中です！

### 指導医から総合診療専攻医希望者へのメッセージ

当科は明るく楽しい職場です...と書くと何かしらブラックな雰囲気も漂ってきますし、この集合写真からは何か怪しい集団のような雰囲気も醸し出されていますが、本当に明るくて楽しい、そして割とホワイトな職場なんです。当プログラムの特徴のところにも記載しましたが、皆様のキャリアに合わせた「お好み」な進路選択に協力できるような、そんなプログラムを目指しています。進路に迷っていらっしゃる方、総合内科や総合診療、家庭医療、そして感染症に興味がある方は是非ご連絡ください。Transitional Year研修も可能です。

総合診療科 副部長 佐藤 只空

### 【連携施設】

安芸太田病院（安芸太田町）  
 瀬尾医院（世羅町）

## 藝州ネットワーク総合診療専門研修プログラム

**基幹施設** : 地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立北部医療センター 安佐市民病院  
**住所** : 広島市安佐北区亀山南一丁目2-1  
**担当** : 事務室 総務課 人事係 豊田 麻里  
**TEL** : 082-815-5211 (代表)  
**mail** : toyota-m@hcho.jp  
**URL** : <https://www.asa-hosp.city.hiroshima.jp/medical-personnel/careers/residents/late/>  
**募集定員** : 2名

### プログラムの特徴

当プログラムでは、地域の特性から、疾患頻度に応じ、ありふれた疾患から急性期の循環管理（肺炎、感染症、心不全）、高齢者の医療・介護の垣根のない支える終末期医療まで経験でき、今後どの医療機関で働いても役立つ知識と技術を習得します。毎朝全体で症例検討や回診、上級医のアドバイス、他科にも気軽に相談できる体制で、メディカルスタッフともとてもよい雰囲気、お互いに情報共有しやすい環境が醸成されています。

### 指導医から総合診療専攻医希望者へのメッセージ

これから皆さんが働く上で、必要なスキルとはなんでしょうか。本プログラムの目標は、急性期～慢性期まで一人の患者さんに寄り添いつつ、医学的にも社会背景にも多職種で協力しながら対応できる医師の養成です。今後少子高齢化がすすむ日本では、限られた医療資源の中で臓器横断的に最適な医療を提供できる医師が求められており、本プログラムでは地域包括ケアや在宅医療のみならず、救急初療、診断、病棟管理まで経験でき、熱意ある指導陣、基幹病院と連携施設ともオンラインでつながっており気軽に相談できる体制が整っています。技術面では、限られた資源の中で診療所～病院とどこでも使用できるデバイスとして超音波の指導に力を入れており、腹部～心臓超音波まで横断的に習得可能です。一緒に働いてみませんか？一度お気軽にご連絡ください。

内科・総合診療科 主任部長／総合診療専門研修プログラム責任者 原田 和歌子

### 当該プログラム専攻医から総合診療専攻医希望者へのメッセージ

私は内科専門研修プログラムを終了後、令和6年度より当総合診療専門研修プログラム専攻医として研修をしています。総合診療科はよく分からない疾患の診療をしているイメージですが、安佐市民病院総合診療科ではよくありふれた疾患を見ていきます。3次医療機関ならではの症例数の多さと、ときに重症患者も来られ、ICU入室となる場合もあります。それでも逃げずに闘います。ここでがむしゃらに頑張った経験が患者から逃げない姿勢を作ってくれました。プログラムでは中小病院での研修もあります。中小病院では退院後も患者との関係性が続くためその人の生活に踏み込むことになりませんが、それは大病院ではできない経験で、医療人としての視野を広げてくれるでしょう。このプログラムでの経験が皆さんの糧になることを確信しています。

卒後8年目（ダブルボード） 松林 秀明

### 【連携施設】

庄原赤十字病院（庄原市）  
 安芸太田病院（安芸太田町）  
 公立みつぎ総合病院（尾道市）  
 大和診療所（三原市）  
 神石高原町立病院（神石高原町）  
 洛和会 丸太町病院（京都府）  
 市立三次中央病院（三次市）  
 広島大学病院（広島市南区）

公立邑智病院（島根県）  
 三次地区医療センター（三次市）  
 庄原市立西城市民病院（庄原市）  
 北広島町雄鹿原診療所（北広島町）  
 三次市作木診療所（三次市）  
 日比野病院（広島市安佐南区）  
 北広島町豊平診療所（北広島町）  
 安佐医師会病院（広島市安佐北区）

## 広島医療生協総合診療研修プログラム

**基幹施設** : 広島医療生活協同組合 広島共立病院  
**住所** : 広島市安佐南区中須二丁目20-20  
**担当** : 事務長室 皆川 大樹  
**TEL** : 082-879-1111  
**mail** : doctor@hiroshimairyō.or.jp  
**URL** : <https://hiroshimairyō.or.jp/>  
**募集定員** : 2名

### プログラムの特徴

当プログラムでは、患者を生活と労働の場で捉え全人的な医療が提供できるよう養成することを第一目標とし、総合診療医に必要な技術や役割を身につけることはもちろん、人間味あふれる医師として成長する事を重視しています。

地域の二次救急医療を担う医療機関、クリニックや在宅施設での研修や高度救命救急を担う専門医療機関での研修を通じてまんべんなく身につけることができ、全科的な能力を身につけられるよう、レジデントのニーズにも考慮したプログラムを作成しています。

### 指導医から総合診療専攻医希望者へのメッセージ

当プログラムでは、広島市最大のベッドタウンである安佐南区において、急性期から回復期・終末期医療を担い、外来から入院、退院後の生活支援や地域の医療機関との連携など中心的役割を担っている広島共立病院を基幹病院としています。

総合診療1においては北広島町の雄鹿原診療所にて6ヶ月の地域研修を行い、県北部の医療リソースの少ない地域でのプライマリケアと在宅医療を学ぶことが出来ます。

救急研修は広島大学と連携し3ヶ月間3次救急医療の最前線で経験を積んで頂きます。

総合内科医に必要なプライマリな臨床能力から、高度急性期医療まで幅広く身につけることができますので、是非当プログラムにご参加下さい。

内科部長 鷹屋 直

### 当該プログラム専攻医から総合診療専攻医希望者へのメッセージ

広島共立病院総合診療科専門医の橋本です。私は初期研修を当院で修了しました。一人の患者さんに救急外来から入院、退院後の外来まで携わることが出来る点に魅力を感じ、引き続き専門研修を行っています。当院は決して大規模な病院ではありませんが、その分Common Diseaseを中心に幅広く研鑽を積むことが出来ます。また、上級医や他科の医師、コメディカル等とも距離が近く気軽に相談が出来るので働きやすく感じています。将来病院総合医を目指す方にとっても、家庭医を目指す方にとっても魅力的なプログラムだと思いますので、是非一度見学にいらして下さい。

専門医 橋本 泰志

### 【連携施設】

広島大学病院（救命救急センター）（広島市南区）

北広島町雄鹿原診療所（北広島町）

城北診療所（福山市）

## 福山医療センター総合診療専門医研修プログラム

**基幹施設** : 国立病院機構 福山医療センター  
**住所** : 福山市沖野上町4-14-17  
**担当** : 管理課 庶務係長 谷口 研郎  
**TEL** : 084-922-0001 (代表)  
**mail** : 507-HP@mail.hosp.go.jp  
**URL** : <https://fukuyama.hosp.go.jp/doctor/index.html>  
**募集定員** : 2名

### プログラムの特徴

当院は、広島県東部医療圏の中心的な機能を満たす病院の一つであり、広島県指定がん診療連携拠点病院、エイズ治療拠点病院、地域医療支援病院等の認定施設です。当院・連携施設・特別連携施設とで3年間の総合診療専門医研修を行い、地域で生活する人々の命と健康に関わる幅広い問題について適切に対応でき、幅広い疾病管理能力を習得し、生涯を通して包括的・継続的に診療できる総合診療専門医を育成します。

### 指導医から総合診療専攻医希望者へのメッセージ

当院での研修は、「自由」と「自主性」を重んじ、常に専攻医みずからが望むべき研修を受けられるよう配慮しています。専攻医それぞれの性格や資質・能力に応じた個別の研修ができるよう臨機応変にプログラムなどを構成しています。病院の規模のわりには専攻医が多くなく、症例数も豊富なため充実した研修が受けられます。また、連携施設・特別連携施設ともそれぞれの施設が得意とする分野に関して、当院では難しい研修において補っていただけるシステムとなっており、網羅的な研修、研鑽を積むことが可能です。このように、初期研修を終え総合診療科医としての一步をあゆみ出すには、当院での研修は非常に適していると考えますので、ぜひ当院での研修を考えていただけたらありがたいと思います。

教育・研修部長 豊川 達也

### 【連携施設】

紫苑会 福山南病院（総合診療専門医研修1）（福山市）  
城北診療所（総合診療専門医研修1）（福山市）  
神石高原町立病院（総合診療専門医研修1）（神石高原町）  
福山市民病院（救急部門）（福山市）

## 庄原赤十字病院総合診療専門研修プログラム

**基幹施設** : 総合病院 庄原赤十字病院  
**住所** : 庄原市西本町二丁目7番10号  
**担当** : 総務課 研修係長 足羽 晶子  
**TEL** : 0824-72-3111  
**mail** : soumu@shobara.jrc.or.jp  
**URL** : <http://www.shobara.jrc.or.jp/>  
**募集定員** : 1名

### プログラムの特徴

このプログラムは病院、診療所などで活躍する高い診療・治療能力を持つ総合診療専門医を養成するために、専門各科を有する地域拠点病院の中で、各科と協働し全人的医療を展開しつつ、自らのキャリアパスの形成や地域医療に携わる実力を身に付けていくことを目的としています。庄原市、そこに居住する地域住民、各種団体、ボランティアや当院の全職員等の理解と協力のもとで研修できる環境を整えています。

### 指導医から総合診療専攻医希望者へのメッセージ

当院は広島県北部の中国山地の山あいに位置する地域中核病院です。近隣には他に急性期医療を担う病院は少なく、また近隣の医院・診療所の数も多くありません。そのため、当院は急性期医療の提供と同時に、地域の『かかりつけ医』としての役割を果たしながらこれまで診療を行ってきております。このような環境にある当院での研修の特徴を挙げるとすれば、外来初診・入院治療・リハビリ/退院調整、退院後の定期フォローまで、1人の『主治医』として責任を持って1人の患者さんに関わり続けることができることです。このような経験は総合診療医としての土台を作っていく上で大変有意義なものになると思います。日々、『地域のための医療』をみんなでがんばっている病院です。地域医療の現場も感じられます。ぜひ県北で一緒にがんばりましょう。

総合診療科部長 舩田 裕道

### 【連携施設】

広島大学病院（広島市南区）  
 広島赤十字・原爆病院（広島市中区）  
 庄原市立西城市民病院（庄原市）

## 備後地区総合診療専門研修プログラム

**基幹施設** : 医療法人紫苑会 福山南病院  
**住所** : 福山市水呑町 1947-2  
**担当** : 事務本部 秘書室 小河原 和加子  
**TEL** : 084-920-5051 (事務本部直通)  
**mail** : fukuyamaminami.kenshu@gmail.com  
**URL** : <https://shion2023.or.jp/>  
**募集定員** : 2名

### プログラムの特徴

当院は、救急医療から急性期・慢性期・在宅・健診まで幅広い医療を提供しています。指導は救急専門医、総合内科専門医、家庭医療専門医が担います。  
入院・外来を含めフィードバックを重視し、振り返りを行います。家庭医医療専門研修プログラムもあるため連動させることも可能です。

### 指導医から総合診療専攻医希望者へのメッセージ

こんにちは。私たちは備後地区で総合診療がしたい、地域医療に携わりたいという仲間を募集しています。地元の方でもそうでなくても大歓迎です！全国的にも総合診療専門医はまだ新しい分野であり、福山含め備後地区においても浸透していないのが現状ではないでしょうか。総合診療・家庭医療は病気ではなく人間を診る、個人だけではなく家族も診る、そしてその地域も診るという幅も厚みもある分野です。今後日本に必要となる分野であり、広がっていく分野だと思います。  
私は卒後12年目で、2019年度に家庭医療専門医を取得しました。2025年度は当プログラムにも新たな総合診療専攻医が1名入り、さらに活気づいています。ジェネラリストの集まる福山南病院で、私たちと楽しく総合診療を学びませんか？少しでも興味があればお気軽に見学にいらしてください！

総合診療科部長 平岩 千尋

### 当該プログラム専攻医から総合診療専攻医希望者へのメッセージ

はじめまして、家庭医療専門研修プログラム専攻医の辻健太郎です。福山南病院のプログラムでは訪問診療をしっかりと行うことができ、外来診療・病棟管理など総合診療・家庭医療に必要な知識経験も学べます。外部病院では自分が希望した倉敷中央病院と提携を組んでいただきました。プログラムの自由度も高く、自分に合った研修ができると思います。  
そして、外部病院へ行っている間でも月1回Webで振り返りをしていただけるので、経験した症例をより深く学ぶことができ、心配なことなどを相談できます。  
少しでも総合診療・家庭医医療に興味のある方はぜひ福山南病院に見学にきてください！  
総合診療・家庭医療を楽しく学んでいきましょう！

卒後6年専攻医 辻 健太郎

### 【連携施設】

福山市民病院（福山市）  
倉敷中央病院（岡山県）  
福山医療センター（福山市）  
広島市民病院（広島市中区）  
広島市立北部医療センター安佐市民病院（広島市安佐北区）  
豊田地域医療センター（愛知県）  
飯塚病院（福岡県）  
潁田病院（福岡県）



